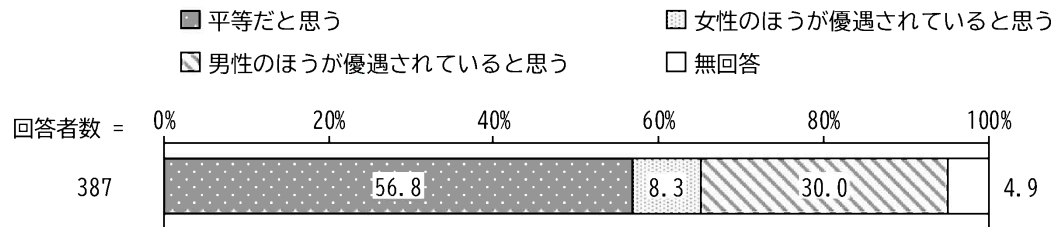


(4) 就労・職業について

【現在職業をお持ちの方にお聞きします】

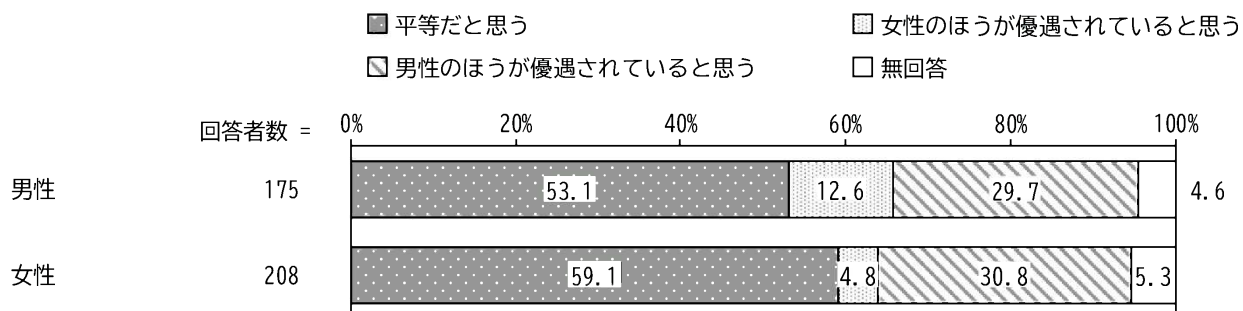
問 26. あなたの職場では、女性と男性が平等だと思いますか。(○は1つ)

「平等だと思う」の割合が 56.8%、「女性のほうが優遇されていると思う」の割合が 8.3%、「男性のほうが優遇されていると思う」の割合が 30.0%となっています。



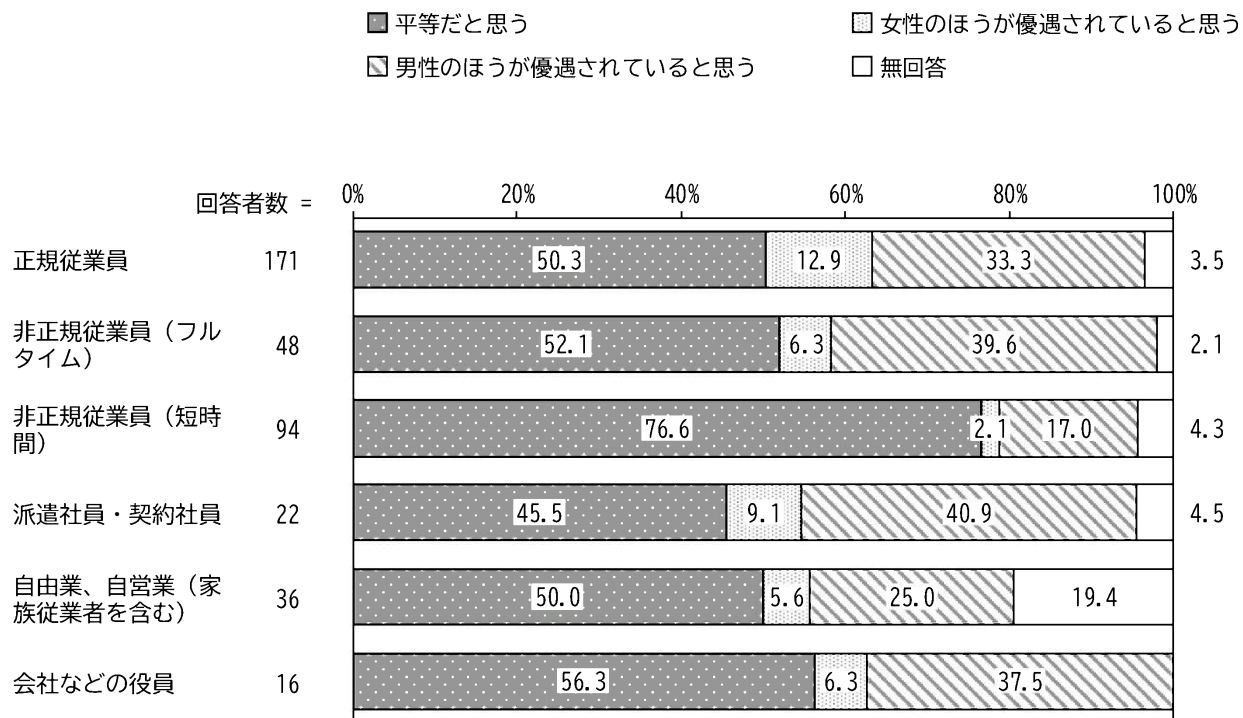
【性別】

性別にみると、男性で「女性のほうが優遇されていると思う」の割合が、女性で「平等だと思う」の割合が高くなっています。



【雇用形態別】

雇用形態別にみると、非正規従業員（短時間）で「平等だと思う」の割合が高くなっています。

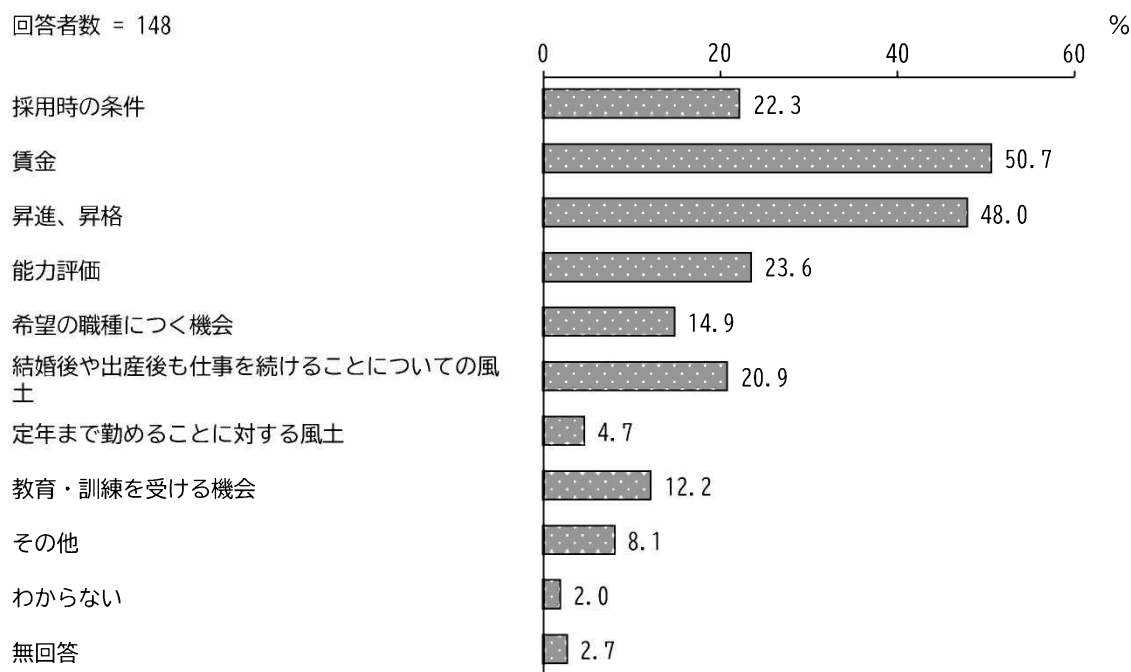


問 26 で「女性のほうが優遇されていると思う」「男性のほうが優遇されていると思う」に○をつけた方にお聞きします。

問 27. あなたの職場で男女が平等だと思わないのは、どのようなことですか。
(○はいくつでも)

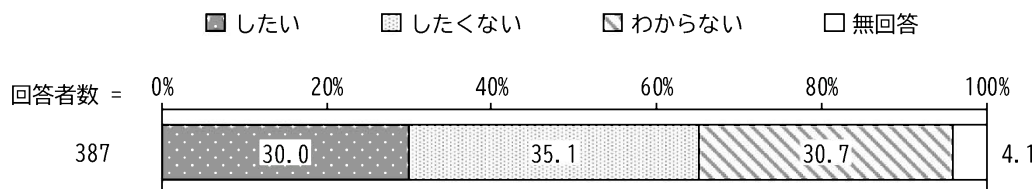
「賃金」の割合が 50.7%と最も高く、次いで「昇進、昇格」の割合が 48.0%、「能力評価」の割合が 23.6%となっています。

回答者数 = 148



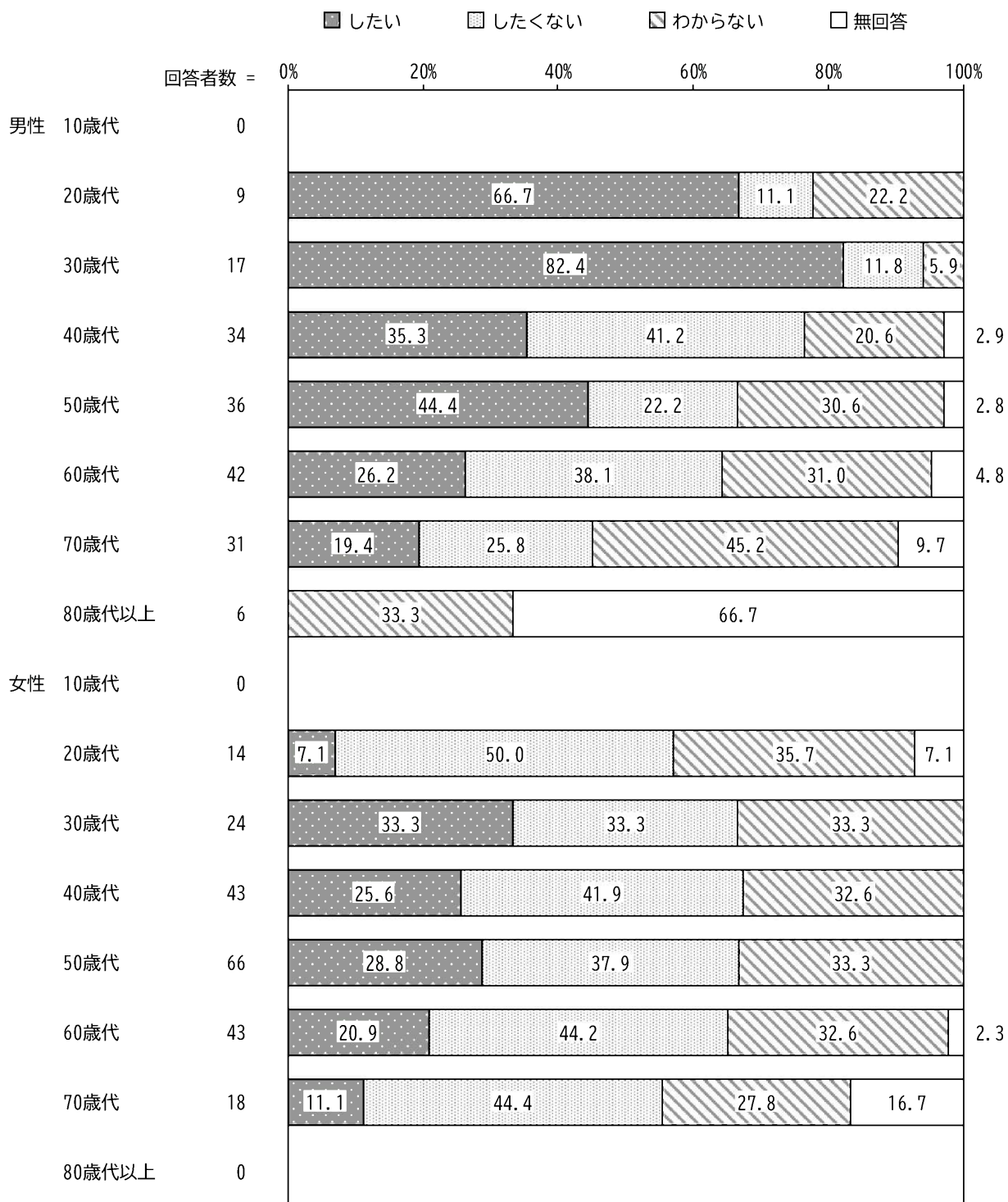
問 28. あなたは、現在の職場で昇進やキャリアアップしたいと思いますか。(○は1つ)

「したい」の割合が 30.0%、「したくない」の割合が 35.1%、「わからない」の割合が 30.7%となっています。



【性年齢別】

性年齢別にみると、各年代において、女性に比べ男性で「したい」の割合が高く、特に30歳代で8割を超えています。

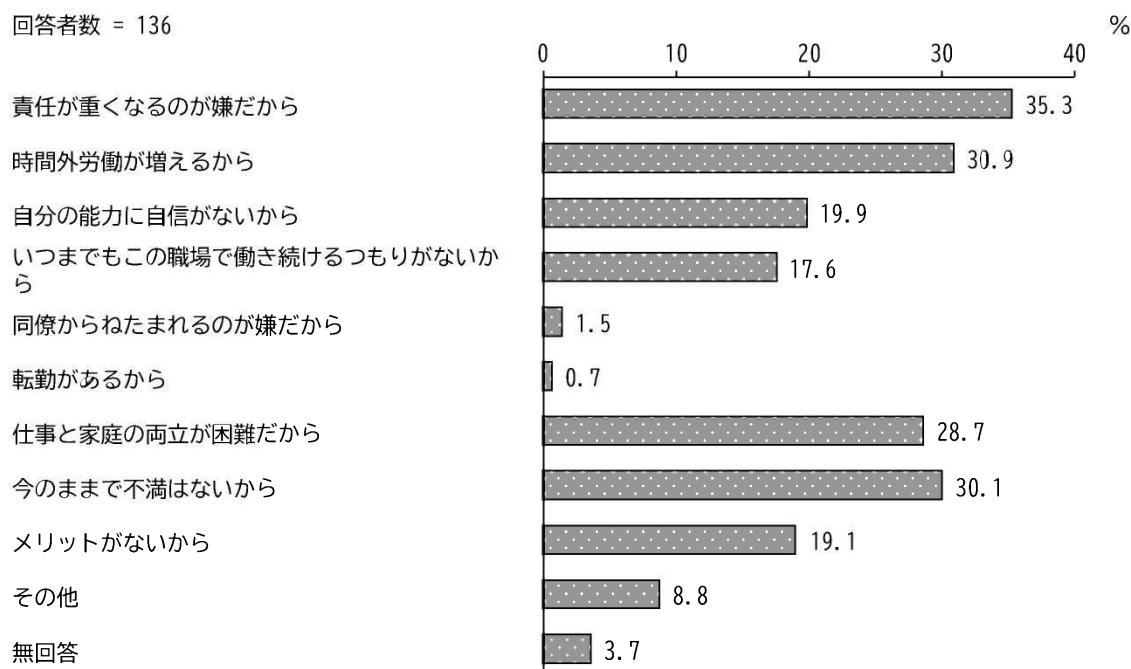


問 28 で「したくない」に○をつけた方にお聞きます。

問 29. その理由は何ですか。(○はいくつでも)

「責任が重くなるのが嫌だから」の割合が 35.3%と最も高く、次いで「時間外労働が増えるから」の割合が 30.9%、「今のままで不満はないから」の割合が 30.1%となっています。

回答者数 = 136

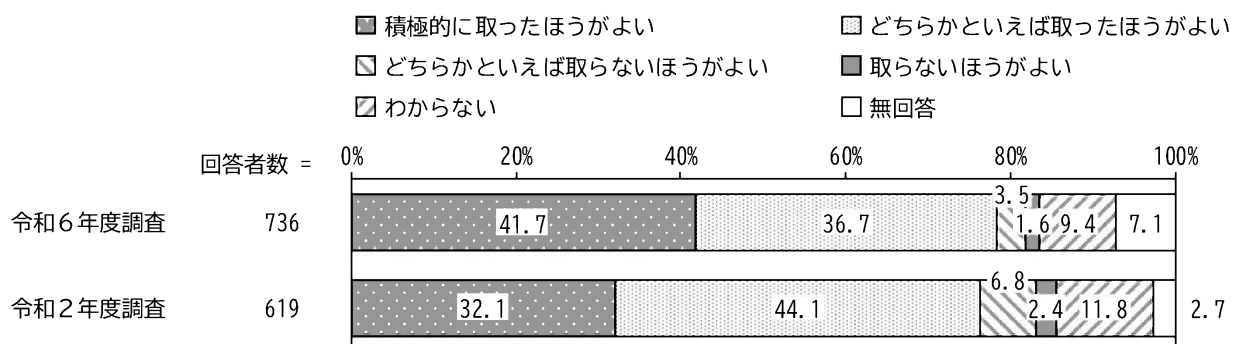


【ここからは全員の方にお聞きます】

問 30. 男性が育児休業を取ることに、どのように思いますか。(○は1つ)

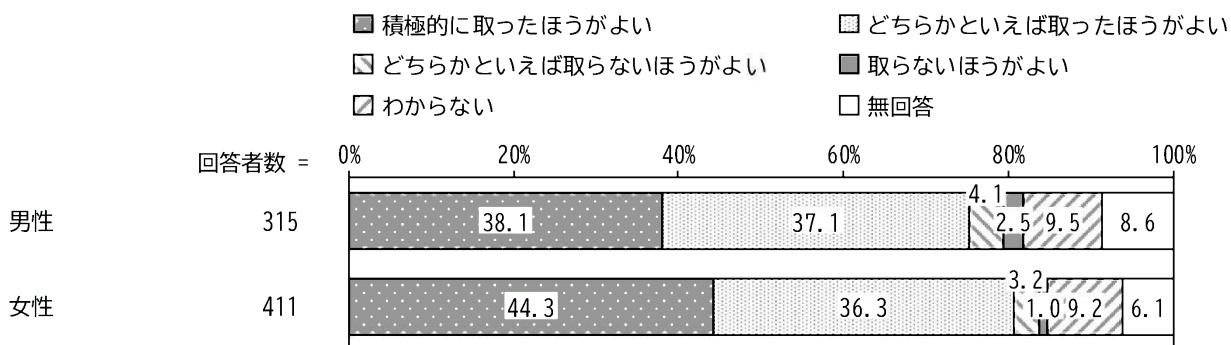
「積極的に取ったほうがよい」「どちらかといえば取ったほうがよい」を合わせた”取ったほうがよい”の割合が 78.4%、「どちらかといえば取らないほうがよい」「取らないほうがよい」を合わせた”取らないほうがよい”の割合が 5.1%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「積極的に取ったほうがよい」の割合が増加しています。一方、「どちらかといえば取ったほうがよい」の割合が減少しています。



【性別】

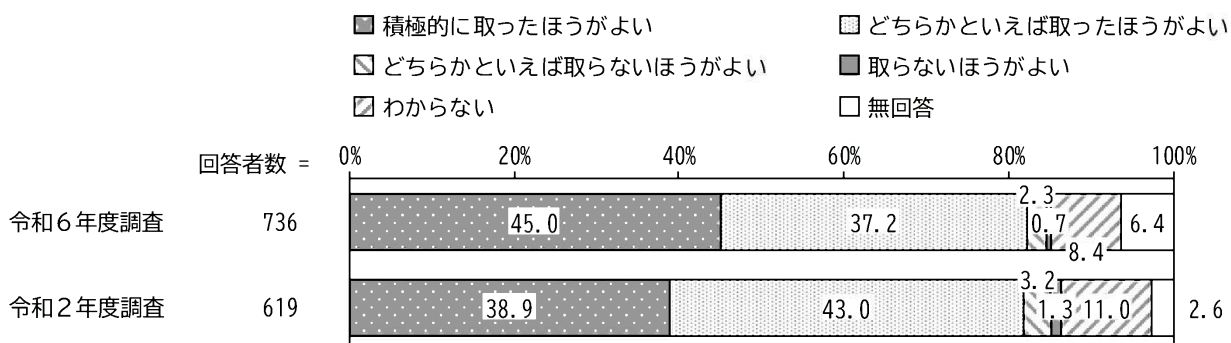
性別にみると、「積極的に取ったほうがよい」で女性の方が高くなっています。



問 31. 男性が介護休業を取ることに、どのように思いますか。(○は1つ)

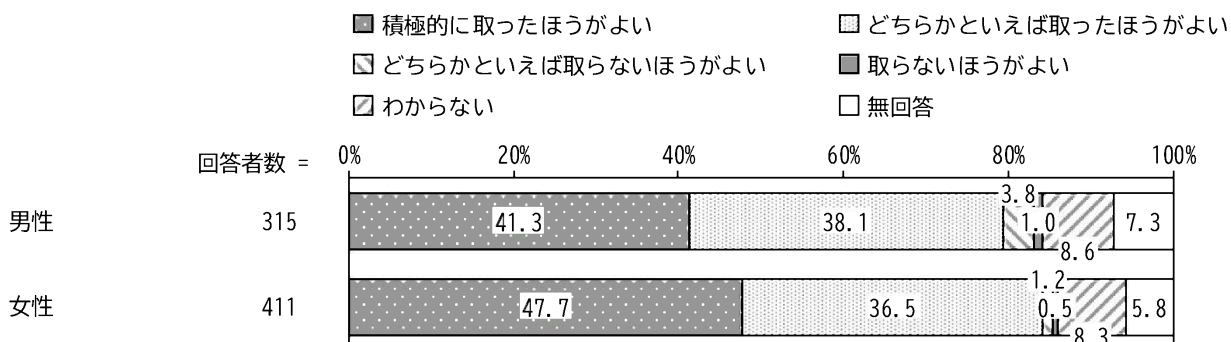
「積極的に取ったほうがよい」「どちらかといえば取ったほうがよい」を合わせた”取ったほうがよい”の割合が 82.2%、「どちらかといえば取らないほうがよい」「取らないほうがよい」を合わせた”取らないほうがよい”の割合が 3.0%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「積極的に取ったほうがよい」の割合が増加しています。一方、「どちらかといえば取ったほうがよい」の割合が減少しています。



【性別】

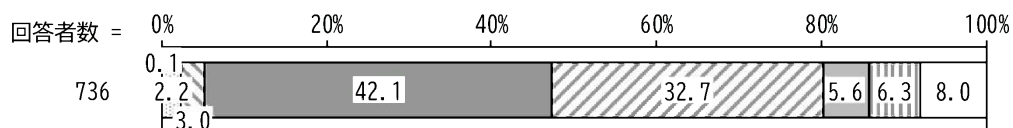
性別にみると、「積極的に取ったほうがよい」で女性の方が高くなっています。



問 32. 女性の職業への関わり方について、あなたはどのような形がもっとも望ましいと思いますか。(○は1つ)

「子どもができて、産前・産後休暇や育児休業などを利用しながら、ずっと働き続ける方がよい」の割合が 42.1%と最も高く、次いで「結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び職業を持つ」の割合が 32.7%、「わからない」の割合が 6.3%となっています。

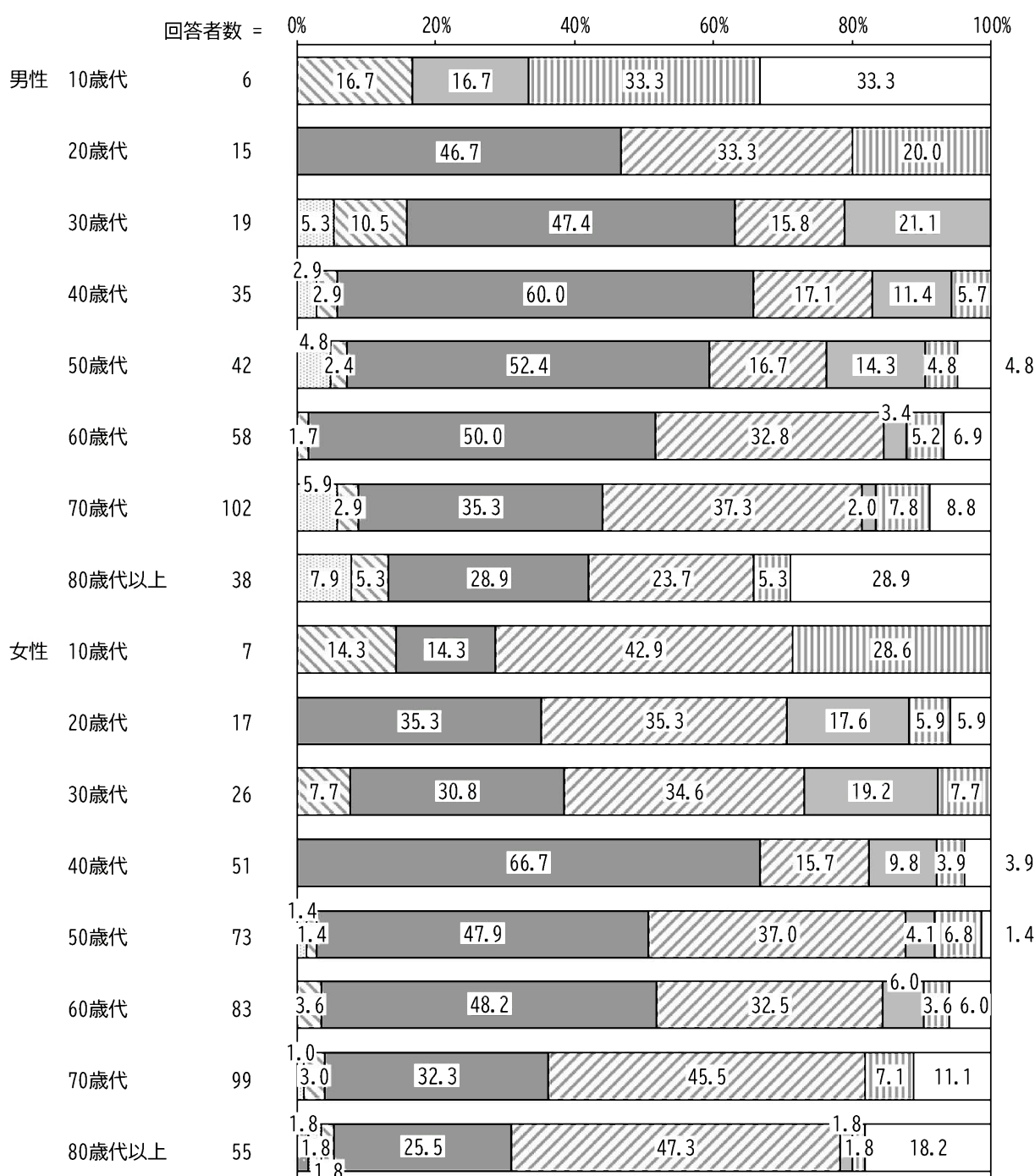
- ☐ 女性は働かない方がよい
- ☐ 結婚するまでは職業を持つが、その後は持たない
- ☐ 子どもができるまでは職業を持つが、その後は持たない
- ☒ 子どもができて、産前・産後休暇や育児休業などを利用しながら、ずっと働き続ける方がよい
- ☒ 結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び職業を持つ
- ☐ その他
- ☐ わからない
- ☐ 無回答



【性年齢別】

性年齢別にみると、男女とも40歳代で「子どもができて、産前・産後休暇や育児休業などを利用しながら、ずっと働き続ける方がよい」の割合が最も高く6割以上となっており、40歳代から80歳代以上にかけて低くなる傾向にあります。男女ともに40歳以上では「結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び職業を持つ」の割合が高くなる傾向がみられます。

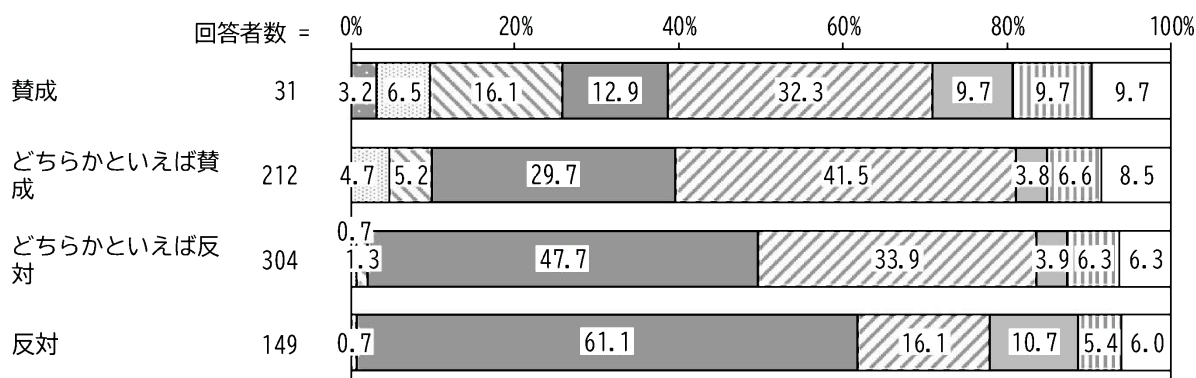
- 女性は働かない方がよい
- 結婚するまでは職業を持つが、その後は持たない
- ▨ 子どもができるまでは職業を持つが、その後は持たない
- 子どもができて、産前・産後休暇や育児休業などを利用しながら、ずっと働き続ける方がよい
- ▨ 結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び職業を持つ
- その他
- ▨ わからない
- 無回答



【固定的性別分担意識別（問 12 「夫は仕事、妻は家庭」という考え方との考察）】

固定的な性別分担意識別（問 12）とクロス集計を行ってみると、「どちらかといえば反対」「反対」と反対の割合が増すにつれ、「子どもができて、産前・産後休暇や育児休業などを利用しながら、ずっと働き続ける方がよい」の割合が高くなる傾向がみられます。また、「どちらかといえば賛成」で「結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び職業を持つ」の割合が高くなっています。

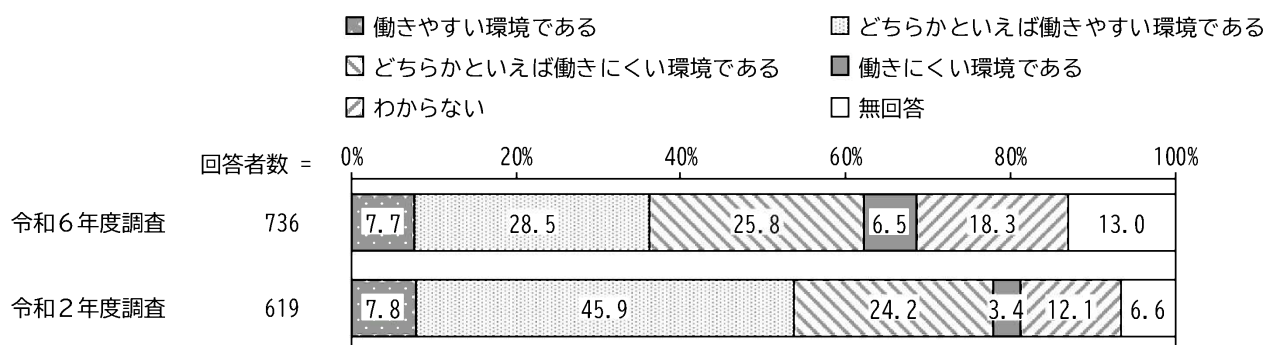
- 女性は働かない方がよい
- ▨ 結婚するまでは職業を持つが、その後は持たない
- ▨ 子どもができるまでは職業を持つが、その後は持たない
- 子どもができて、産前・産後休暇や育児休業などを利用しながら、ずっと働き続ける方がよい
- ▨ 結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び職業を持つ
- その他
- ▨ わからない
- 無回答



問 33. 働きたいと思う女性にとって、現在は、働きやすい環境であると思いますか。
(○は1つ)

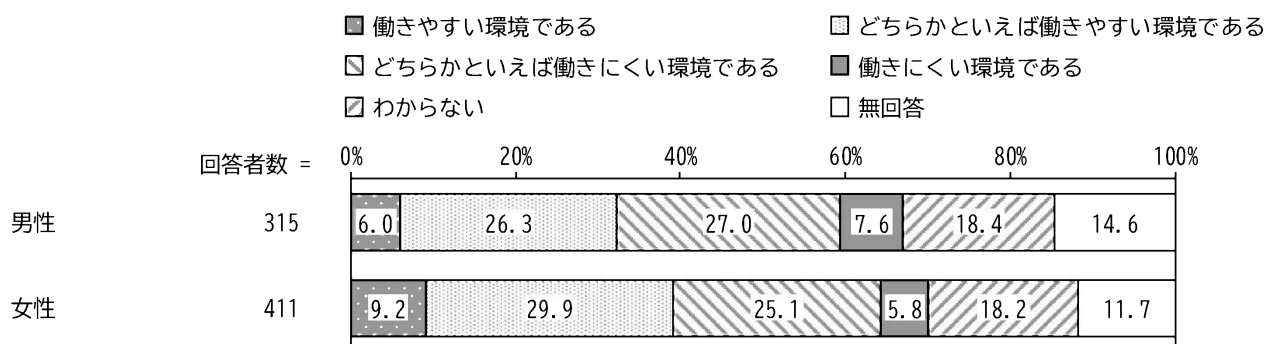
「働きやすい環境である」「どちらかといえば働きやすい環境である」を合わせた”働きやすい”の割合が 36.2%、「どちらかといえば働きにくい環境である」「働きにくい環境である」を合わせた”働きにくい”の割合が 32.3%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「わからない」の割合が増加しています。一方、「どちらかといえば働きやすい環境である」の割合が減少しています。



【性別】

性別にみると、女性で「働きやすい環境である」「どちらかといえば働きやすい環境である」を合わせた”働きやすい”の割合が高くなっています。

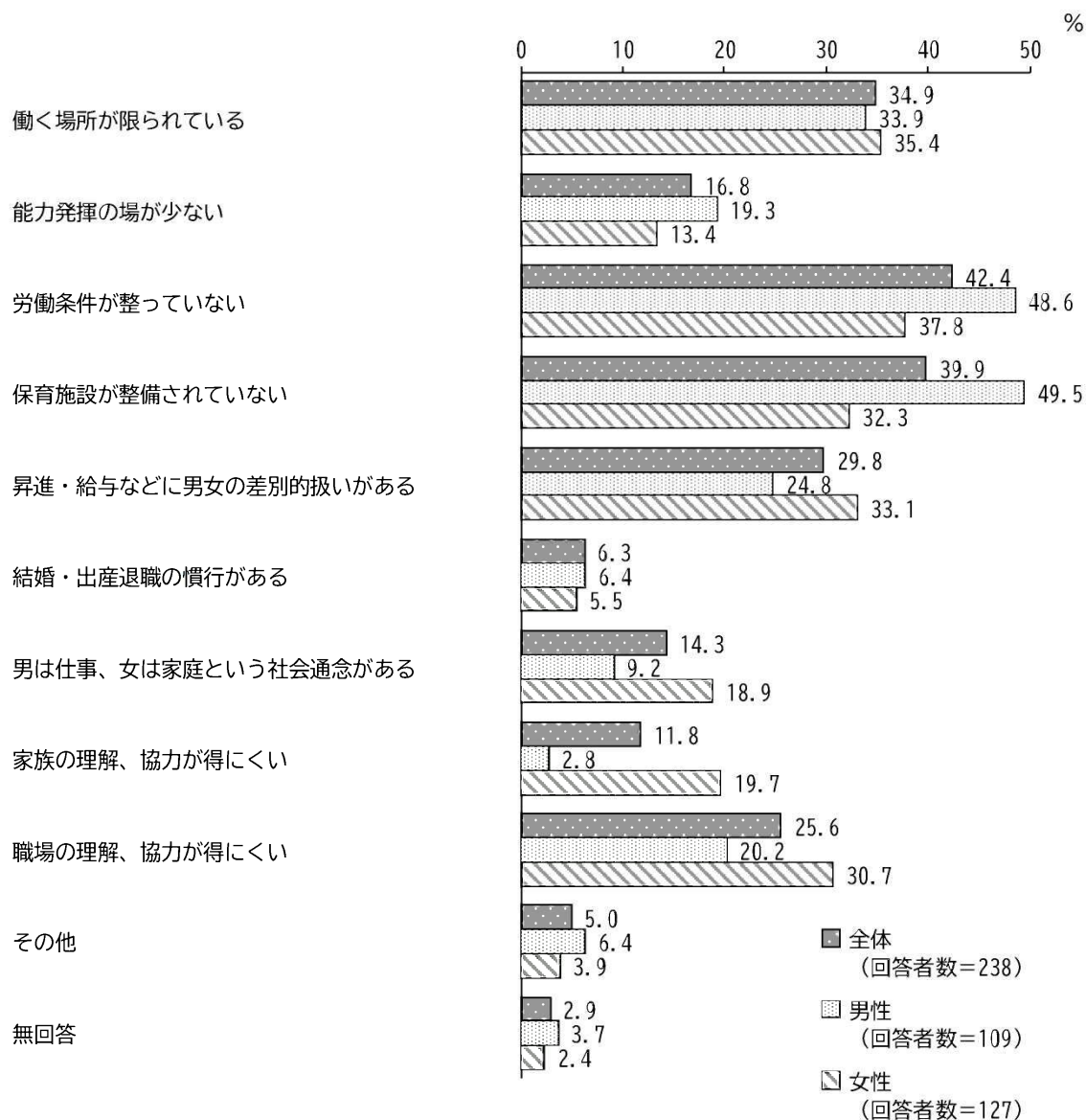


問 33 で「どちらかといえば働きにくい環境である」「働きにくい環境である」に○をつけた方にお聞きします。

問 34. そう思う理由はなんですか。(○は3つまで)

「労働条件が整っていない」の割合が 42.4%と最も高く、次いで「保育施設が整備されていない」の割合が 39.9%、「働く場所が限られている」の割合が 34.9%となっています。

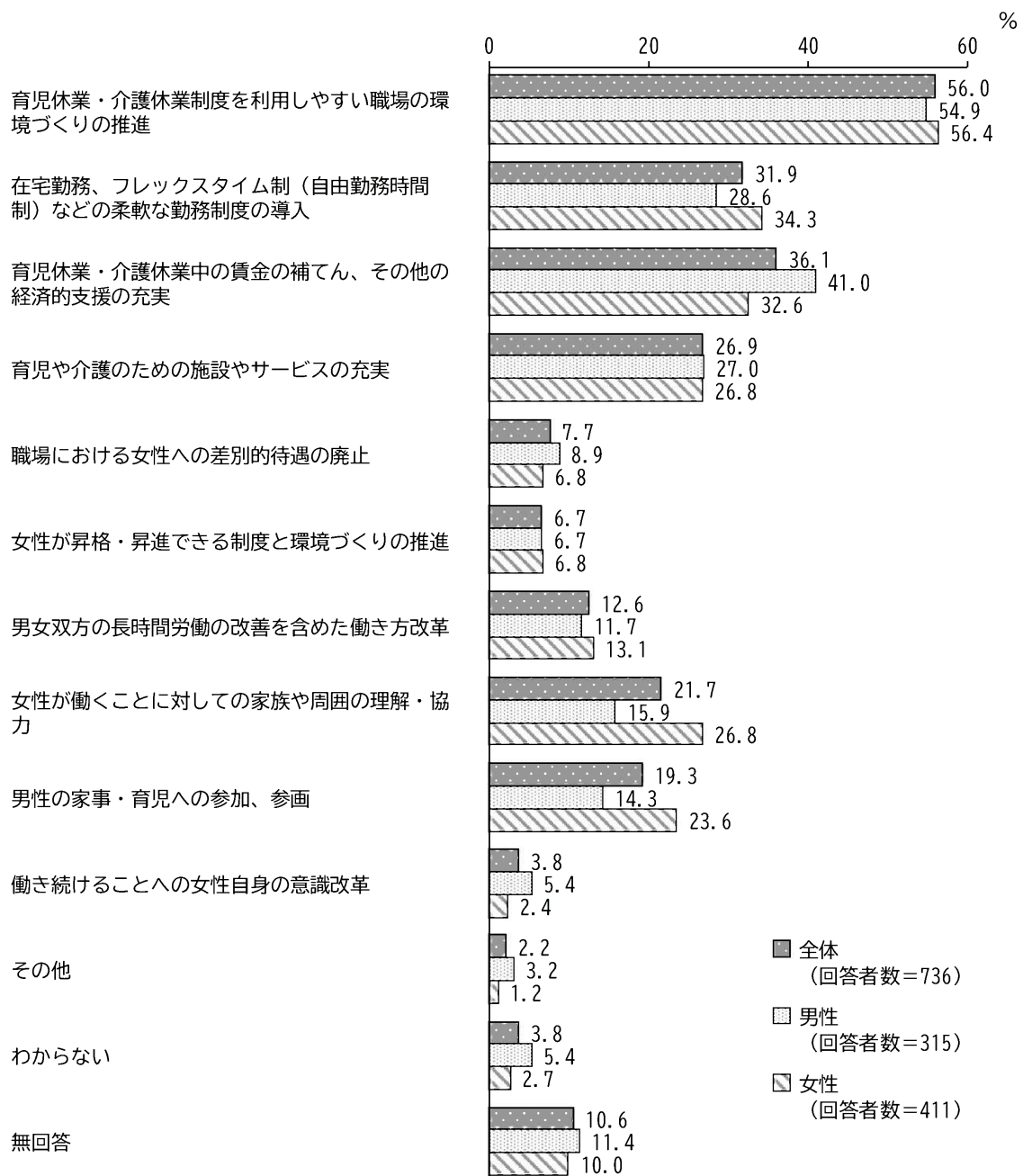
性別にみると、「労働条件が整っていない」「保育施設が整備されていない」で男性の方が高く、「職場の理解、協力が得にくい」で女性の方が高くなっています。



問 35. 女性が、出産、子育て、介護などの理由で仕事を辞めずに働き続けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から選んで○をつけてください。
(○は3つまで)

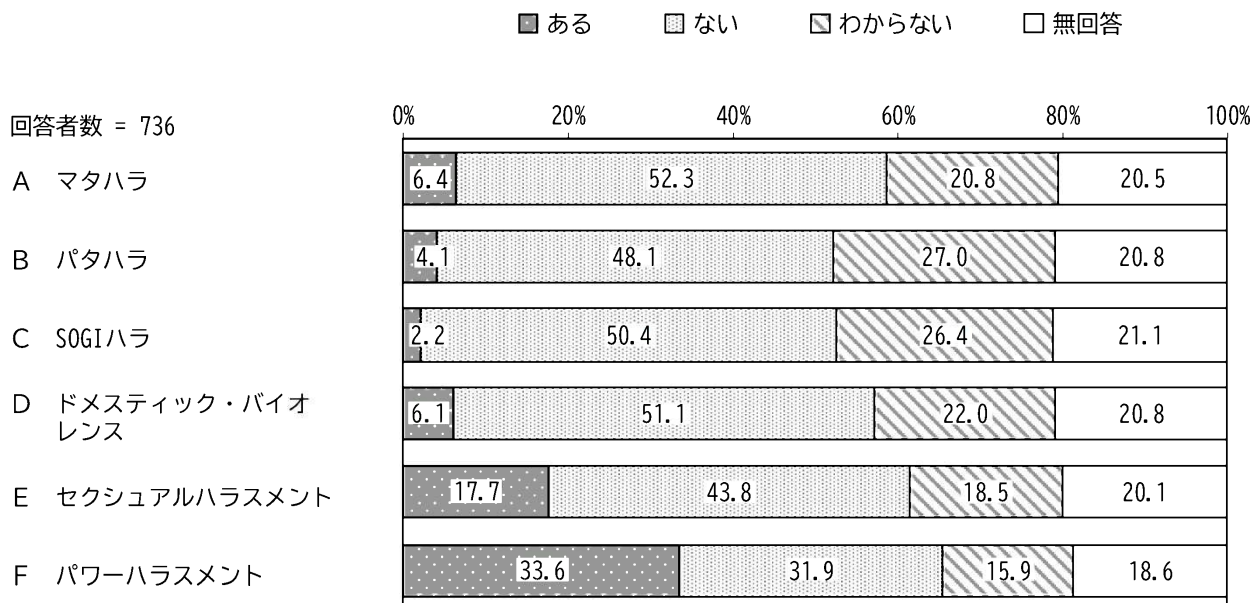
「育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場の環境づくりの推進」の割合が 56.0%と最も高く、次いで「育児休業・介護休業中の賃金の補てん、その他の経済的支援の充実」の割合が 36.1%、「在宅勤務、フレックスタイム制（自由勤務時間制）などの柔軟な勤務制度の導入」の割合が 31.9%となっています。

性別にみると、「育児休業・介護休業中の賃金の補てん、その他の経済的支援の充実」で男性の方が高く、「男性の家事・育児への参加、参画」「女性が働くことに対しての家族や周囲の理解・協力」で女性の方が高くなっています。



問 36. あなたは、職場で次のようなハラスメントを受けたことや見聞きしたことはありますか。(A～Fのそれぞれに○を1つずつ)

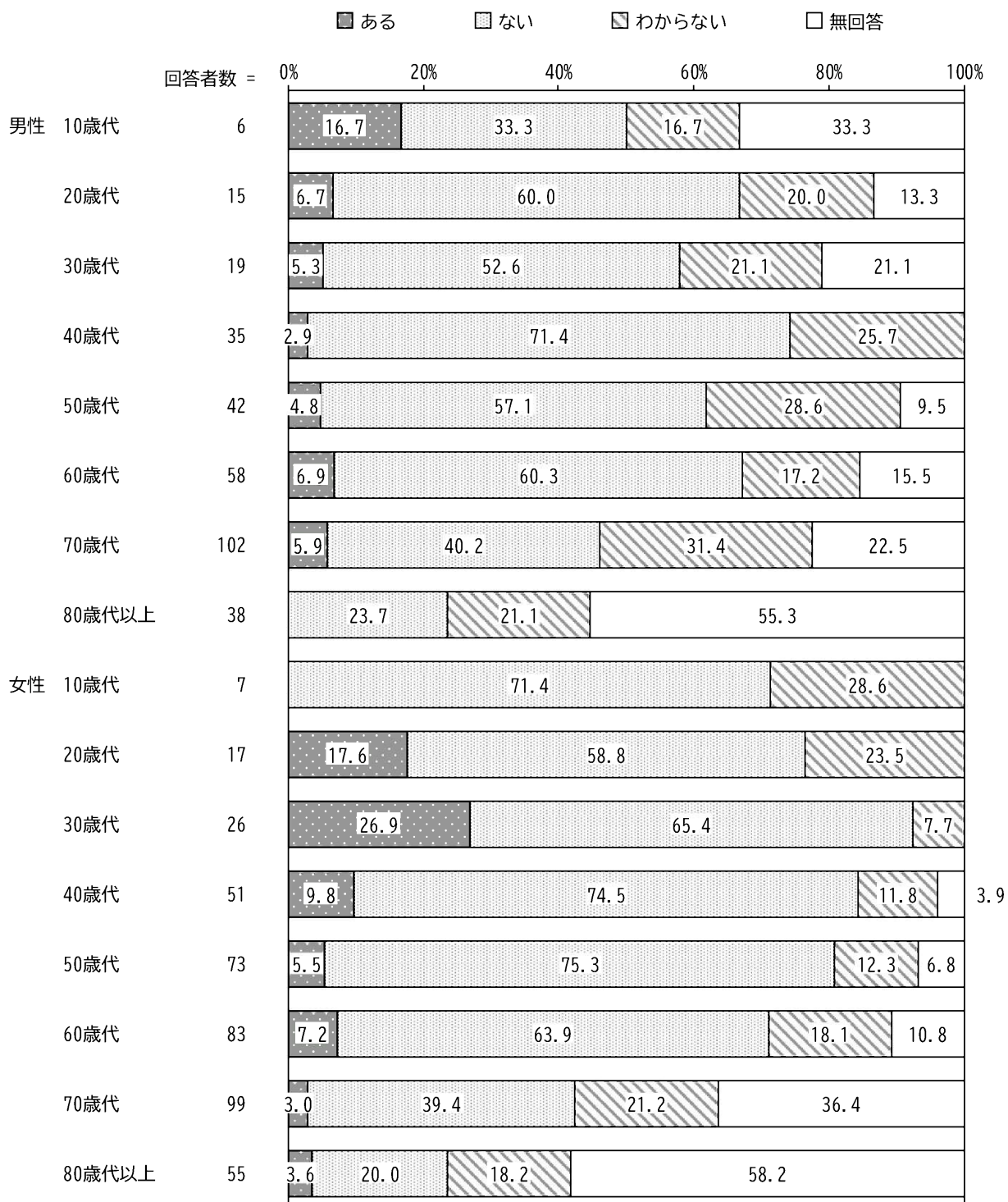
『F パワーハラスメント』、次いで『E セクシュアルハラスメント』で「ある」の割合が高くなっています。



A. マタハラ

【性年齢別】

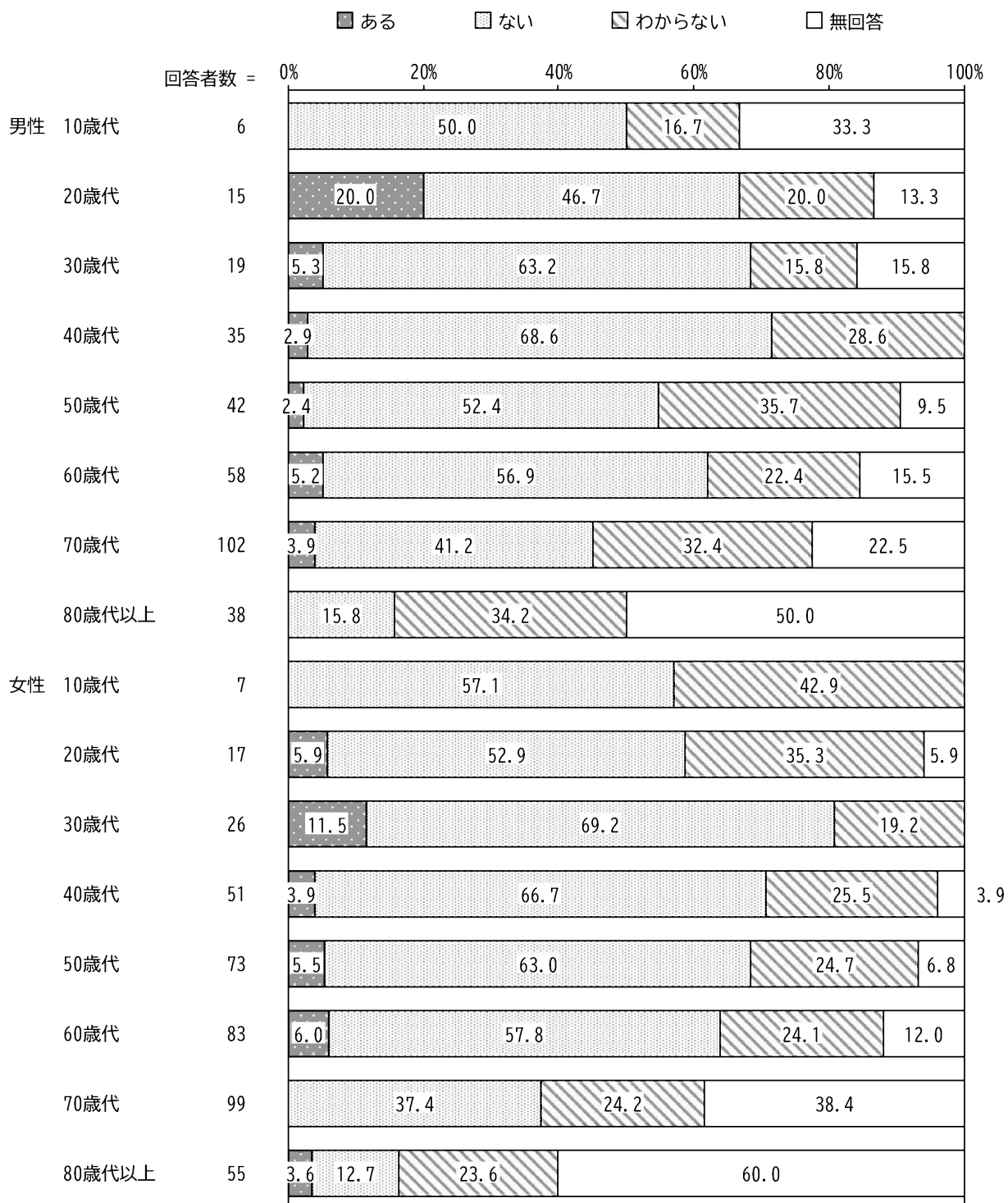
性年齢別にみると、女性 30 歳代で「ある」の割合が高く、2 割半ばとなっています。また、男性 40 歳代から 80 歳代以上にかけて「ない」の割合が低くなる傾向にあります。



B. パタハラ

【性年齢別】

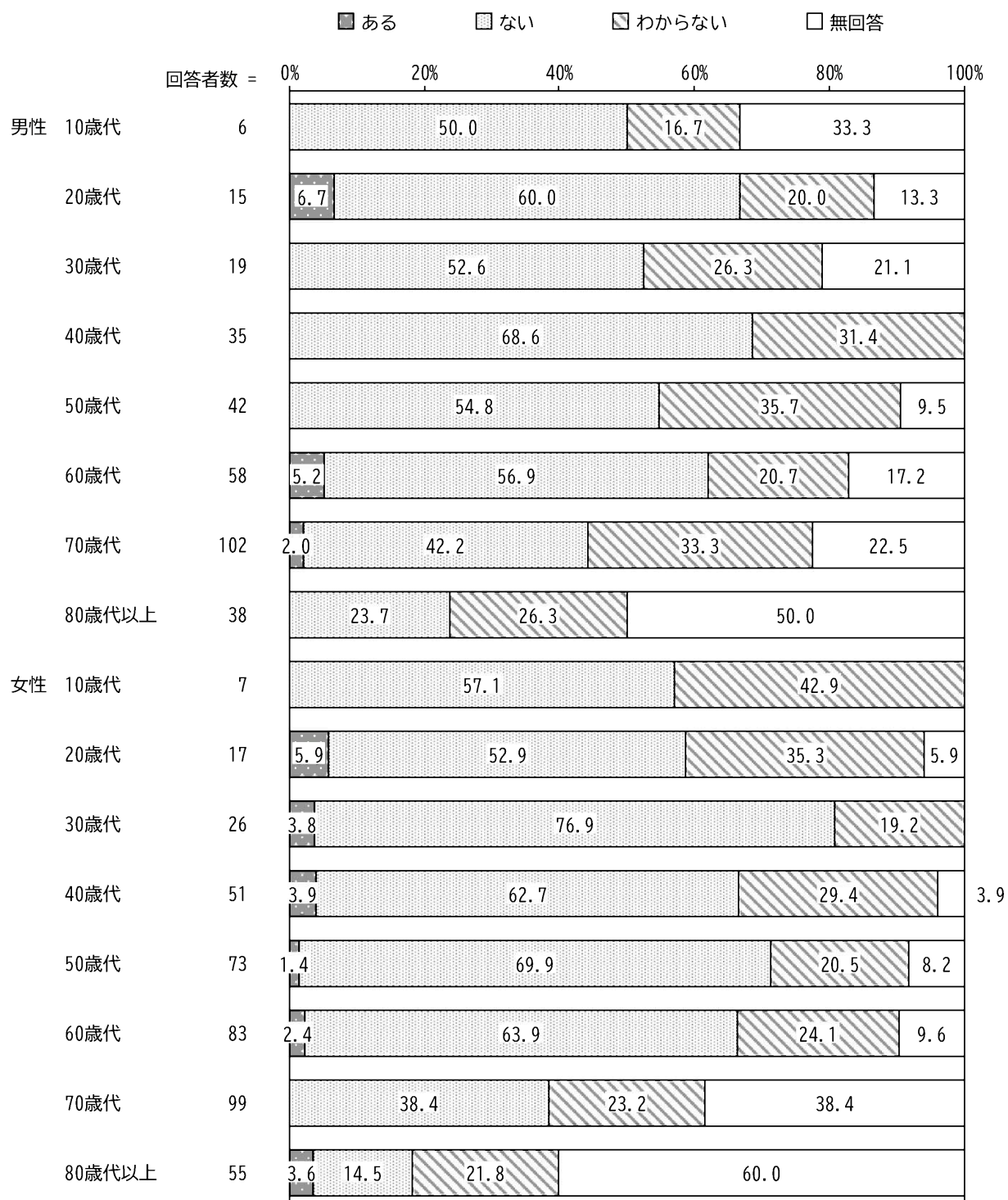
性年齢別にみると、男性 20 歳代、女性 30 歳代で「ある」の割合が高くなっています。



C. SOGI ハラ

【性年齢別】

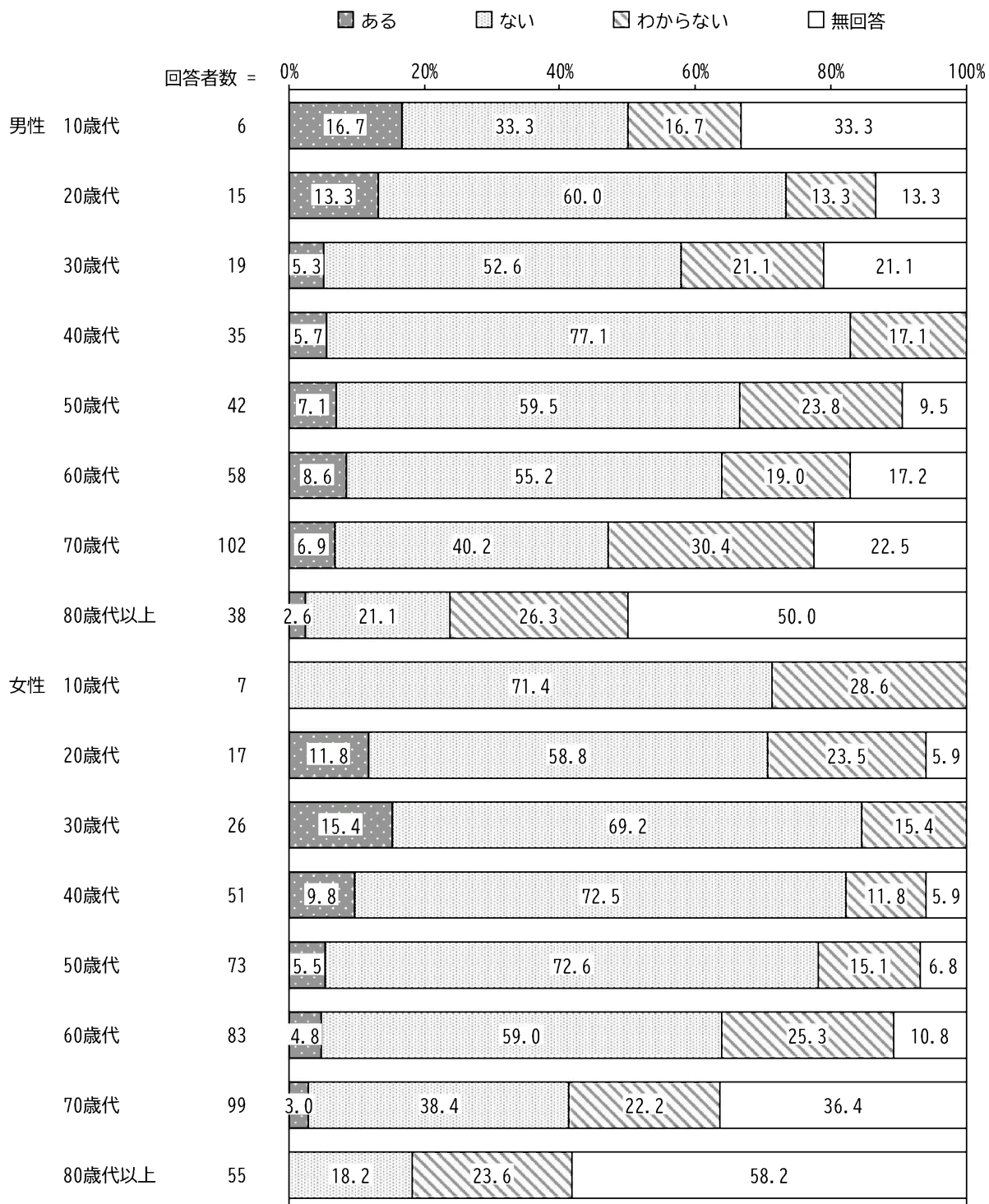
性年齢別にみると、男性 40 歳代、女性 30 歳代で「ない」の割合が最も高く、年齢が増すにつれ低くなる傾向にあります。



D. ドメスティック・バイオレンス

【性年齢別】

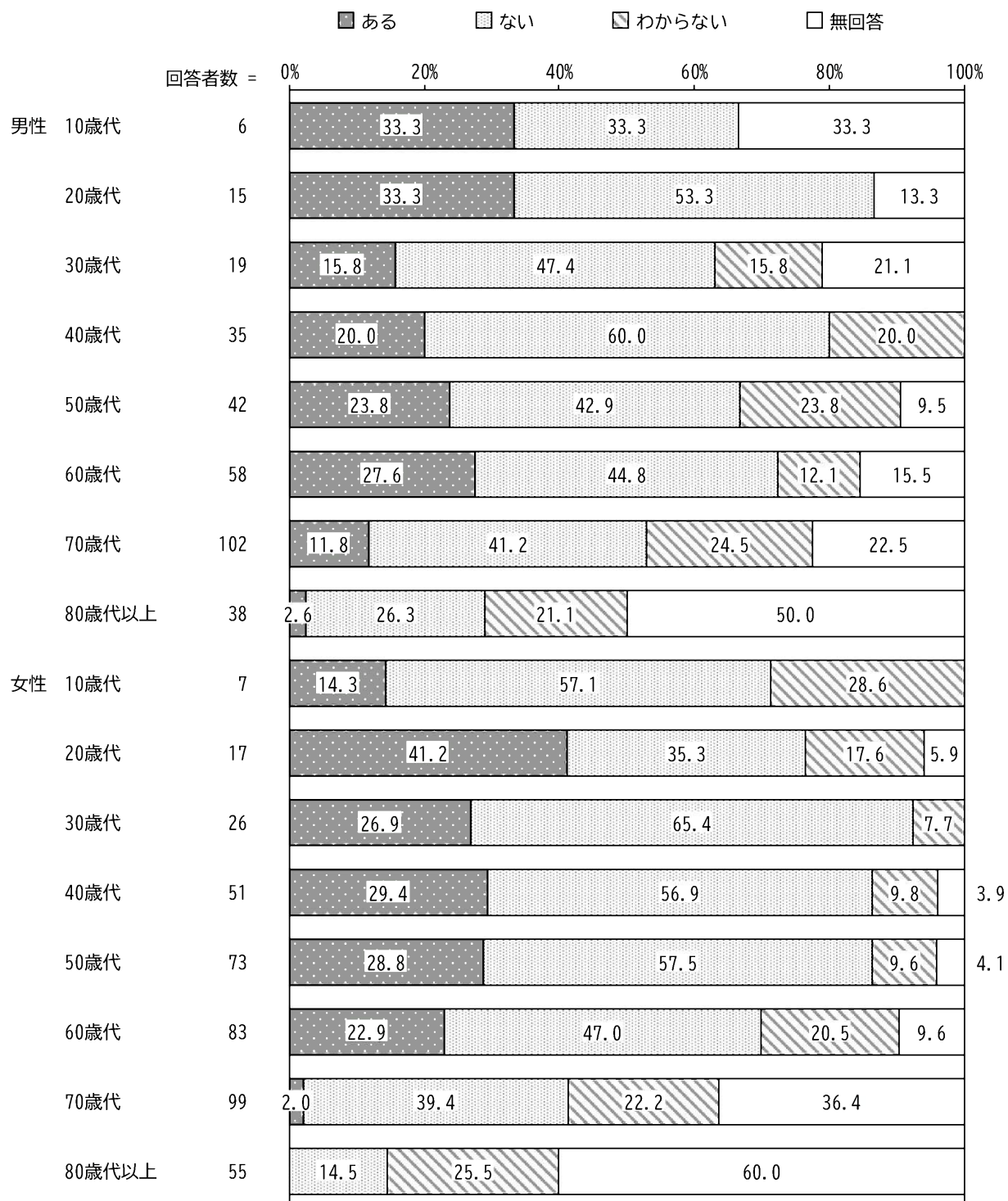
性年齢別にみると、男性 20 歳代、女性 20 歳代から 30 歳代で「ある」の割合が高く、1 割を超えています。



E. セクシュアルハラスメント

【性年齢別】

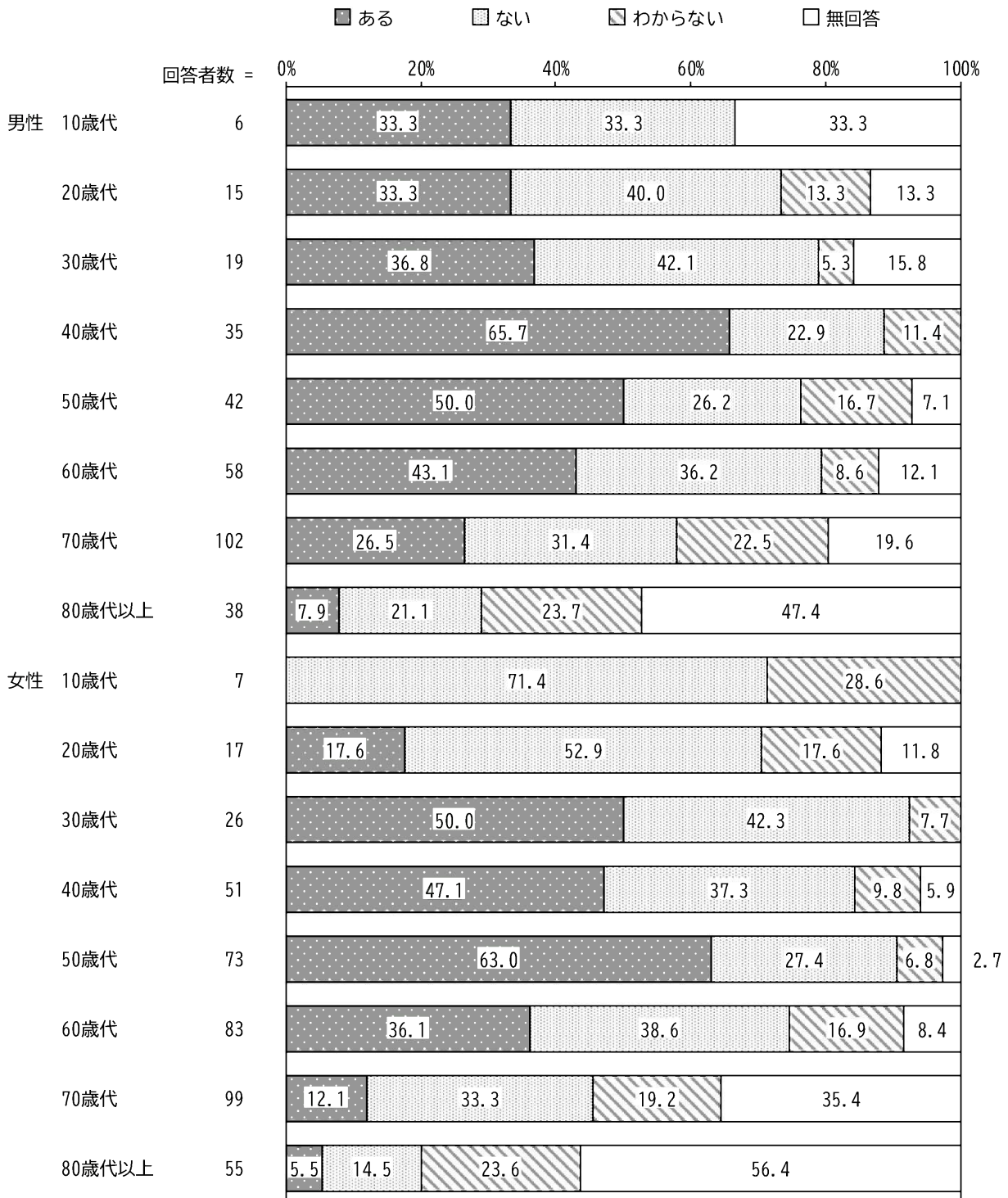
性年齢別にみると、男性 20 歳代、女性 20 歳代で「ある」の割合が高く、3 割を超えています。



F. パワーハラスメント

【性年齢別】

性年齢別にみると、男性 40 歳代、女性 50 歳代で「ある」の割合が高く、6 割を超えています。

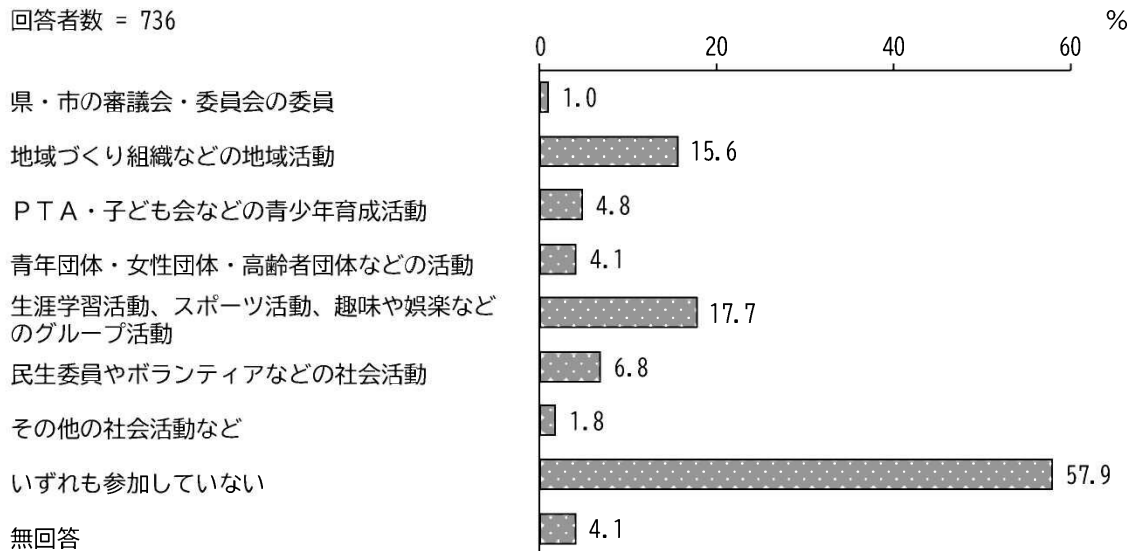


(5) 社会参画について

問 37. あなたは、次のような活動をしていますか。(○はいくつでも)

「いずれも参加していない」の割合が 57.9%と最も高く、次いで「生涯学習活動、スポーツ活動、趣味や娯楽などのグループ活動」の割合が 17.7%、「地域づくり組織などの地域活動」の割合が 15.6%となっています。

回答者数 = 736



【性年齢別】

性年齢別にみると、男女ともに「いずれも参加していない」の割合が高く、女性 30 歳代では約 9 割となっています。女性 40 歳代以上が「生涯学習活動、スポーツ活動、趣味や娯楽などのグループ活動」に参加しており、70 歳代で 3 割半ばと高くなっています。

単位：%

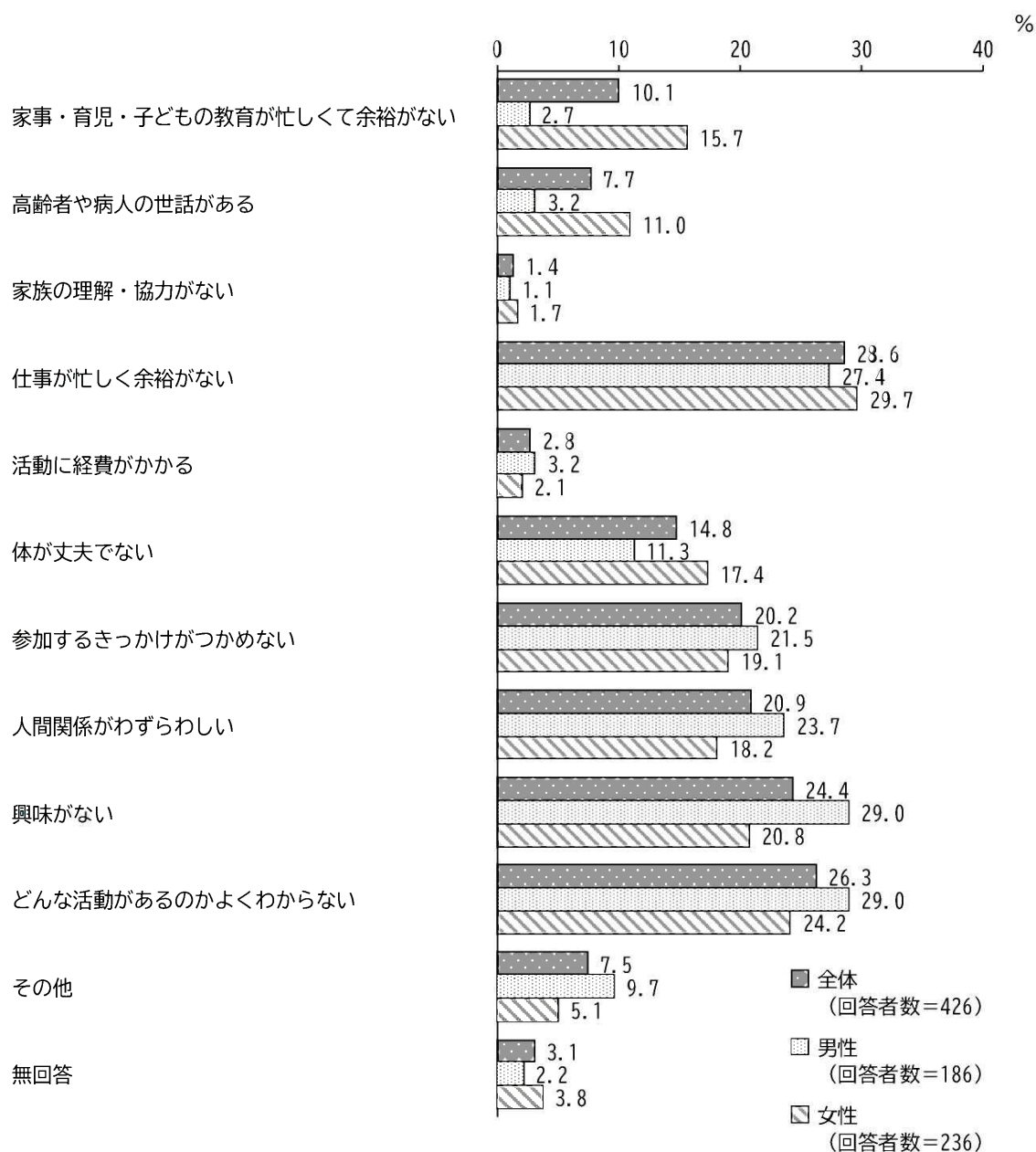
区分	回答者数 (件)	県・市の審議会・委員会の委員	地域づくり組織などの地域活動	PTA・子ども会などの青少年育成活動	青年団体・女性団体・高齢者団体などの活動	生涯学習活動、スポーツ活動、趣味や娯楽などのグループ活動	民生委員やボランティアなどの社会活動	その他の社会活動など	いずれも参加していない	無回答
全 体	736	1.0	15.6	4.8	4.1	17.7	6.8	1.8	57.9	4.1
男性 10歳代	6	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
20歳代	15	—	13.3	6.7	—	20.0	13.3	—	53.3	6.7
30歳代	19	5.3	26.3	5.3	—	5.3	—	—	63.2	—
40歳代	35	2.9	8.6	8.6	—	17.1	2.9	—	68.6	—
50歳代	42	—	14.3	—	2.4	9.5	—	2.4	73.8	—
60歳代	58	—	22.4	—	1.7	10.3	3.4	1.7	65.5	1.7
70歳代	102	2.0	27.5	2.9	6.9	16.7	9.8	3.9	49.0	5.9
80歳代以上	38	—	28.9	—	13.2	21.1	18.4	—	44.7	13.2
女性 10歳代	7	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
20歳代	17	5.9	11.8	—	—	—	11.8	—	76.5	—
30歳代	26	—	3.8	7.7	—	—	—	—	88.5	—
40歳代	51	—	11.8	25.5	3.9	13.7	3.9	—	49.0	—
50歳代	73	1.4	9.6	5.5	1.4	11.0	6.8	1.4	68.5	—
60歳代	83	—	14.5	3.6	1.2	22.9	8.4	2.4	54.2	1.2
70歳代	99	—	13.1	2.0	5.1	36.4	6.1	1.0	45.5	7.1
80歳代以上	55	—	7.3	1.8	12.7	21.8	10.9	5.5	50.9	16.4

問 37 で「いずれも参加していない」に○をつけた方にお聞きします。

問 38. その理由は何ですか。(○はいくつでも)

「仕事が忙しく余裕がない」の割合が 28.6%と最も高く、次いで「どんな活動があるのかよくわからない」の割合が 26.3%、「興味がない」の割合が 24.4%となっています。

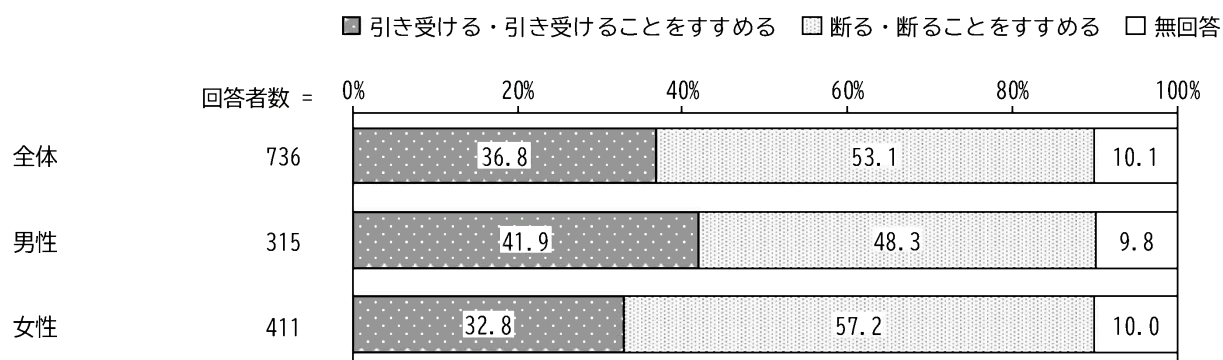
性別にみると、男性で「興味がない」の割合が高く、女性で「家事・育児・子どもの教育が忙しくて余裕がない」での割合が高くなっています。



問 39. 地域づくり組織、自治会長や PTA 会長などの役職に、女性の方はあなた自身が、男性の方はあなたの妻などの身近な女性が推薦された場合、どうしますか。(○は1つ)

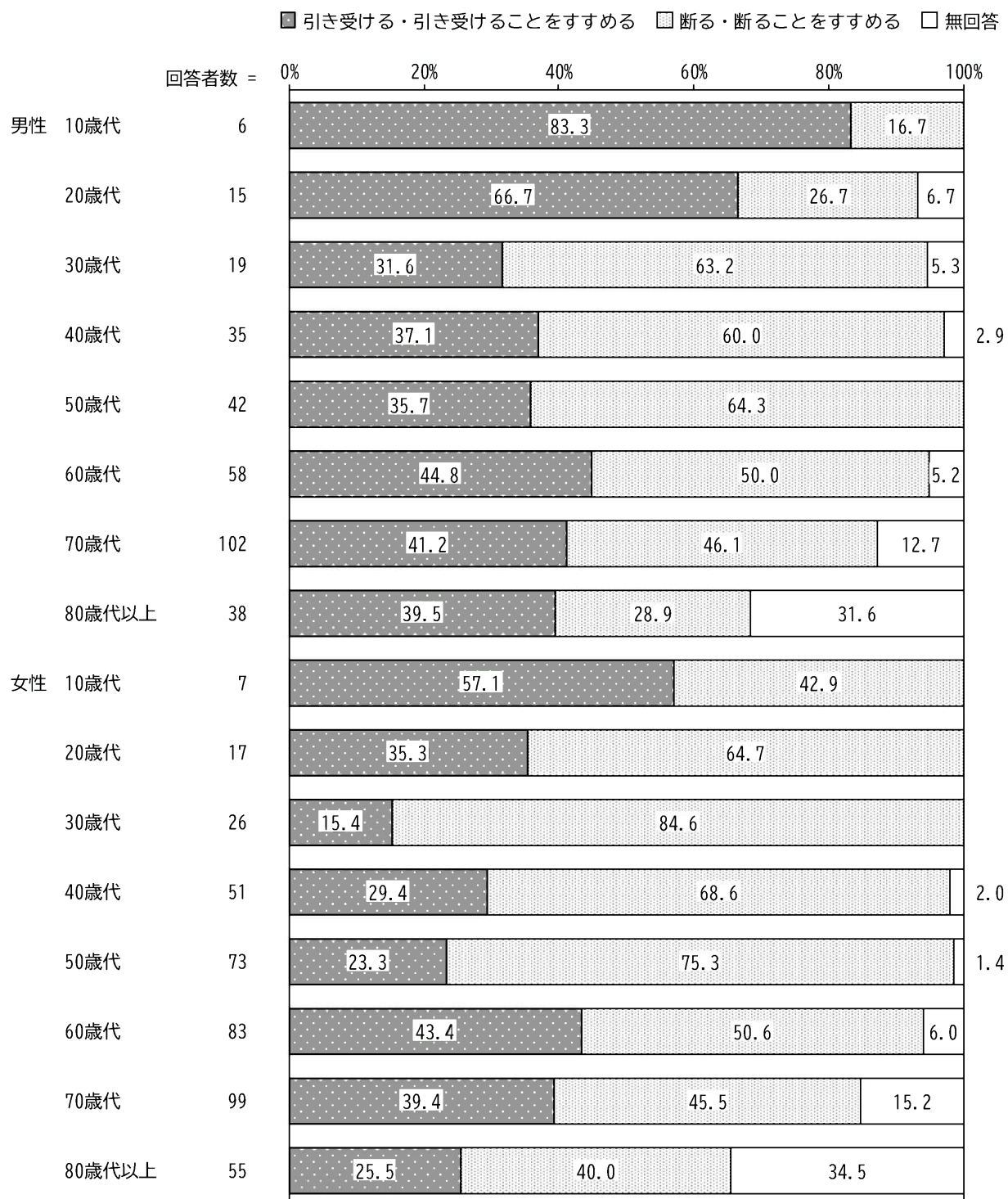
「引き受ける・引き受けることをすすめる」の割合が 36.8%、「断る・断ることをすすめる」の割合が 53.1%となっています。

性別にみると、男性で「引き受ける・引き受けることをすすめる」の割合が高くなっています。



【性年齢別】

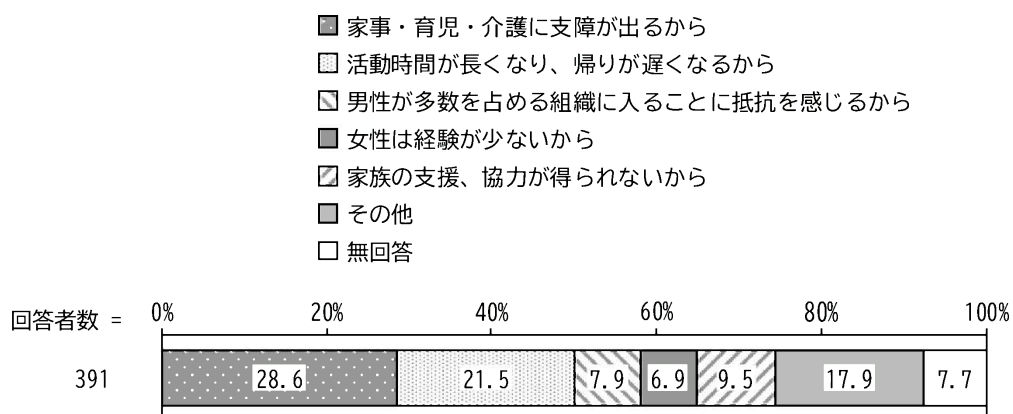
性年齢別にみると、前年代において、女性に比べ男性で「引き受ける・引き受けることをすすめる」の割合が高くなっています。女性 80 歳代から 30 歳代にかけ年齢が低くなるほど「断る・断ることをすすめる」の割合が高くなる傾向がみられます。



問 39 で「断る・断ることをすすめる」に○をつけた方にお聞きします。

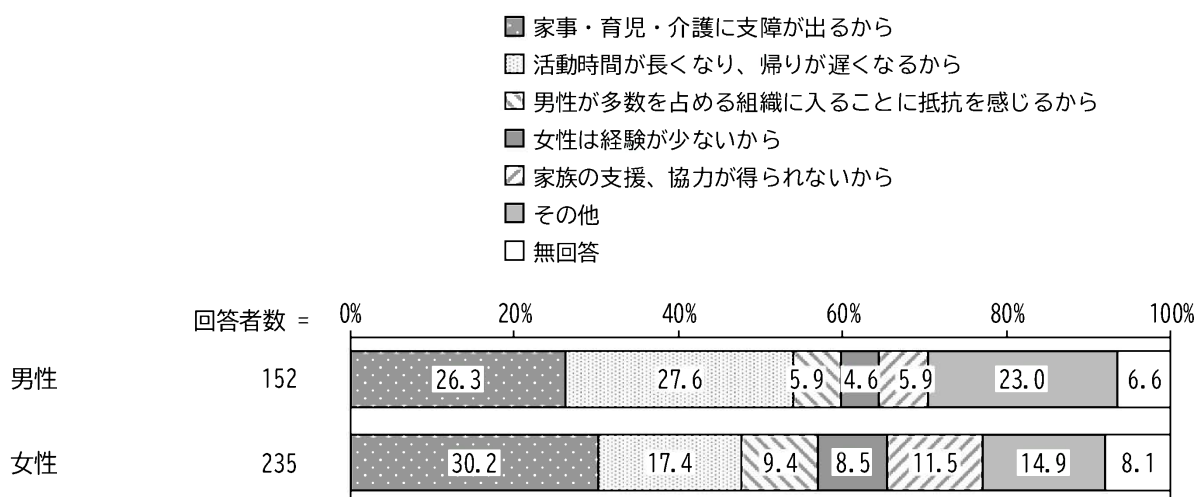
問 40. その理由は何ですか。(○は1つ)

「家事・育児・介護に支障が出るから」の割合が 28.6%と最も高く、次いで「活動時間が長くなり、帰りが遅くなるから」の割合が 21.5%、「家族の支援、協力が得られないから」の割合が 9.5%となっています。



【性別】

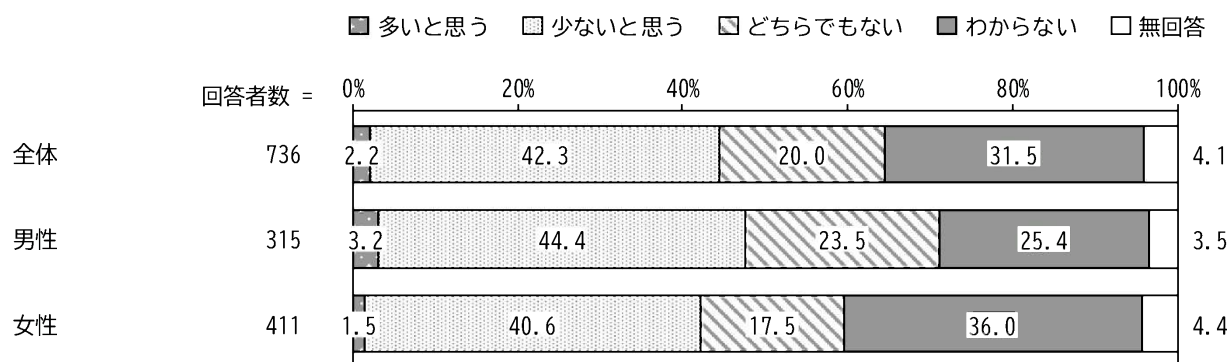
性別にみると、男性で「活動時間が長くなり、帰りが遅くなるから」の割合が高く、女性で「家族の支援、協力が得られないから」の割合が高くなっています。



問 41. あなたは、政治・行政・事業所や地域において、政策などの方針決定の場への女性の参画についてどのように思われますか。(○は1つ)

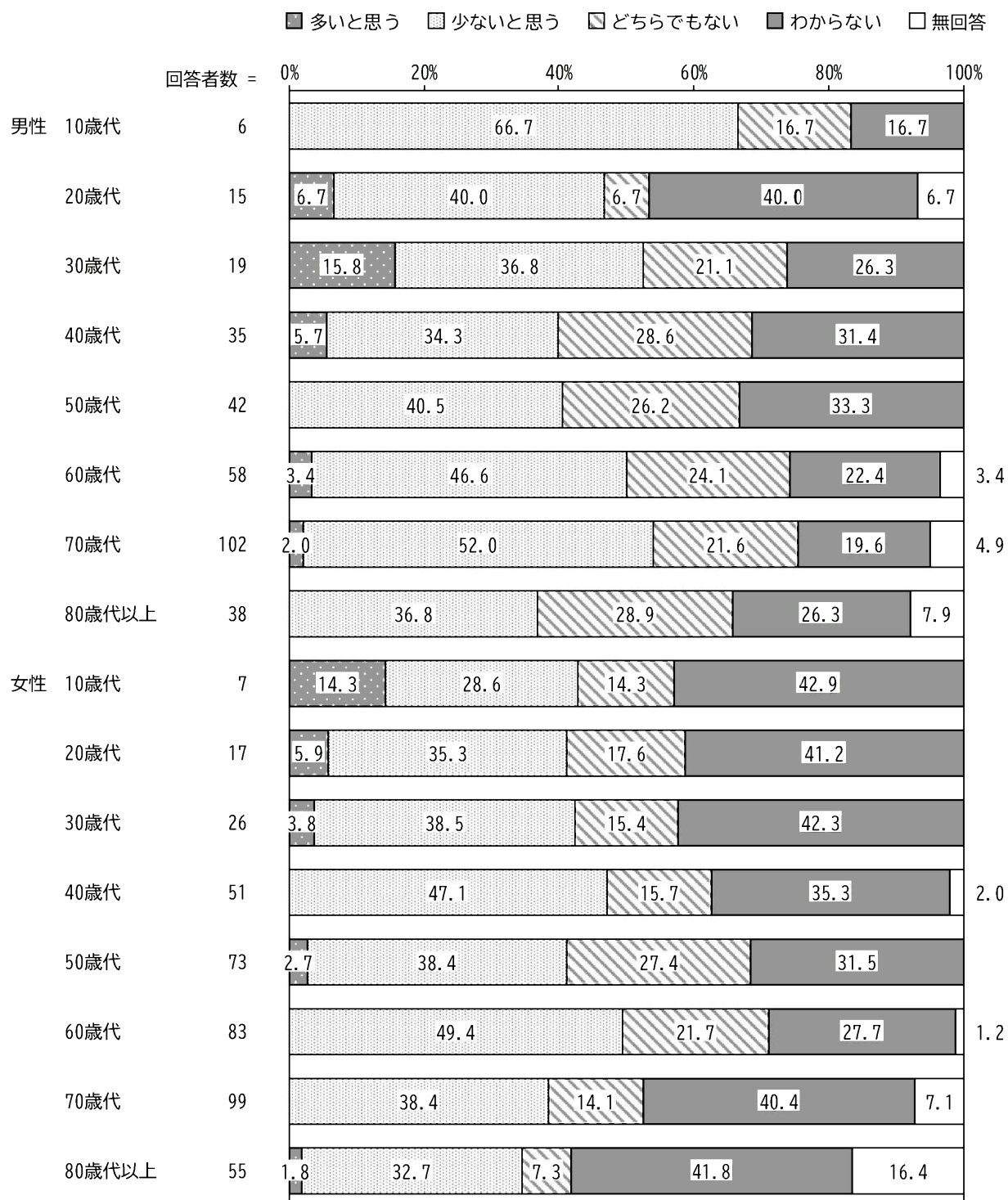
「少ないと思う」の割合が 42.3%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 31.5%、「どちらでもない」の割合が 20.0%となっています。

性別にみると、大きな差はみられません。



【性年齢別】

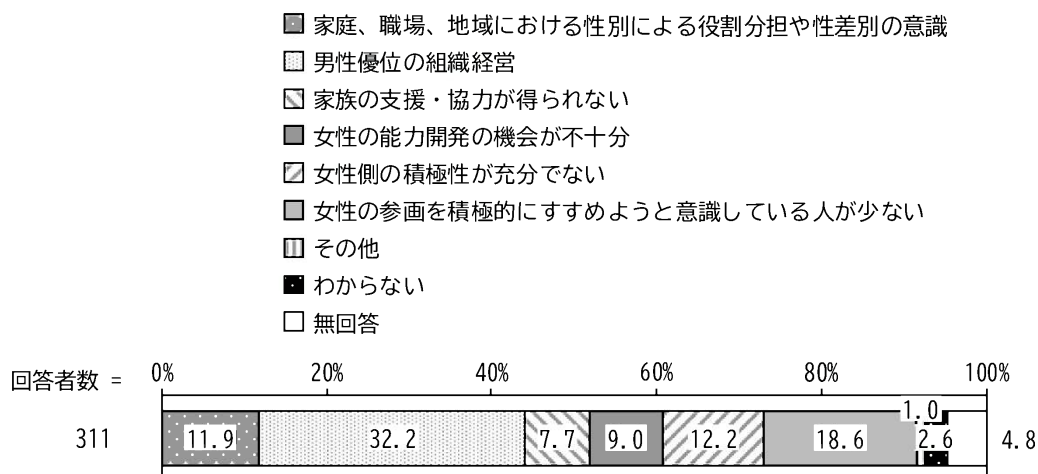
性年齢別にみると、男性 30 歳代で「多いと思う」の割合が、男性 70 歳代で「少ないと思う」の割合が高くなっています。



問 41 で「少ないと思う」に○をつけた方にお聞きます。

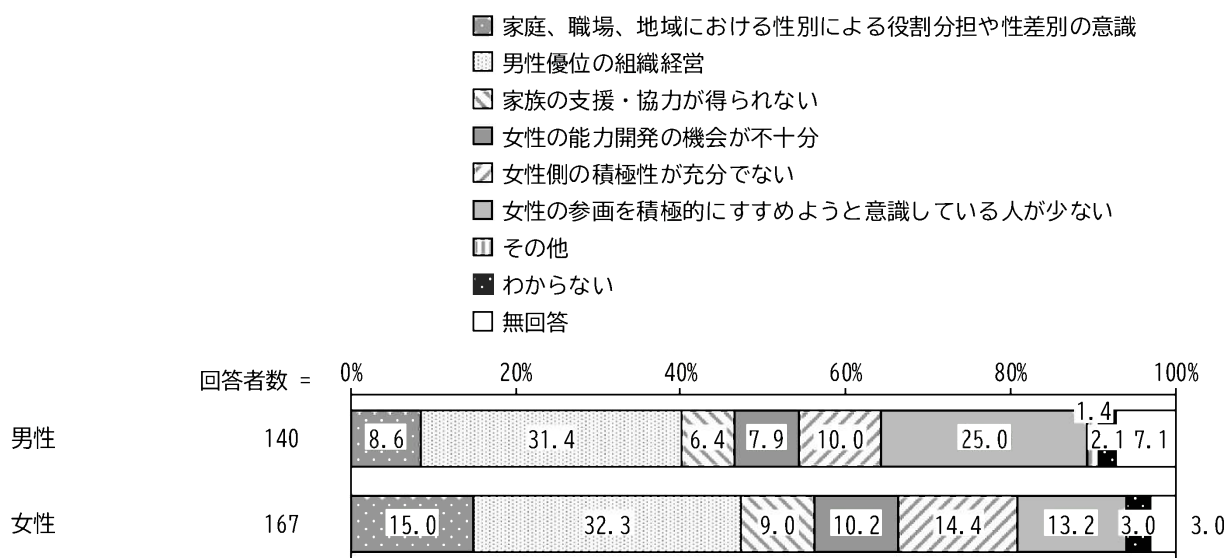
問 42. あなたは、政治・行政・事業所や地域において、政策などの方針決定の場への女性の参画が少ない理由は何だと思いませんか。(○は1つ)

「男性優位の組織経営」の割合が 32.2%と最も高く、次いで「女性の参画を積極的にすすめよう意識している人が少ない」の割合が 18.6%、「女性側の積極性が充分でない」の割合が 12.2%となっています。



【性別】

性別にみると、男性で「女性の参画を積極的にすすめよう意識している人が少ない」の割合が、女性で「家庭、職場、地域における性別による役割分担や性差別の意識」の割合が高くなっています。

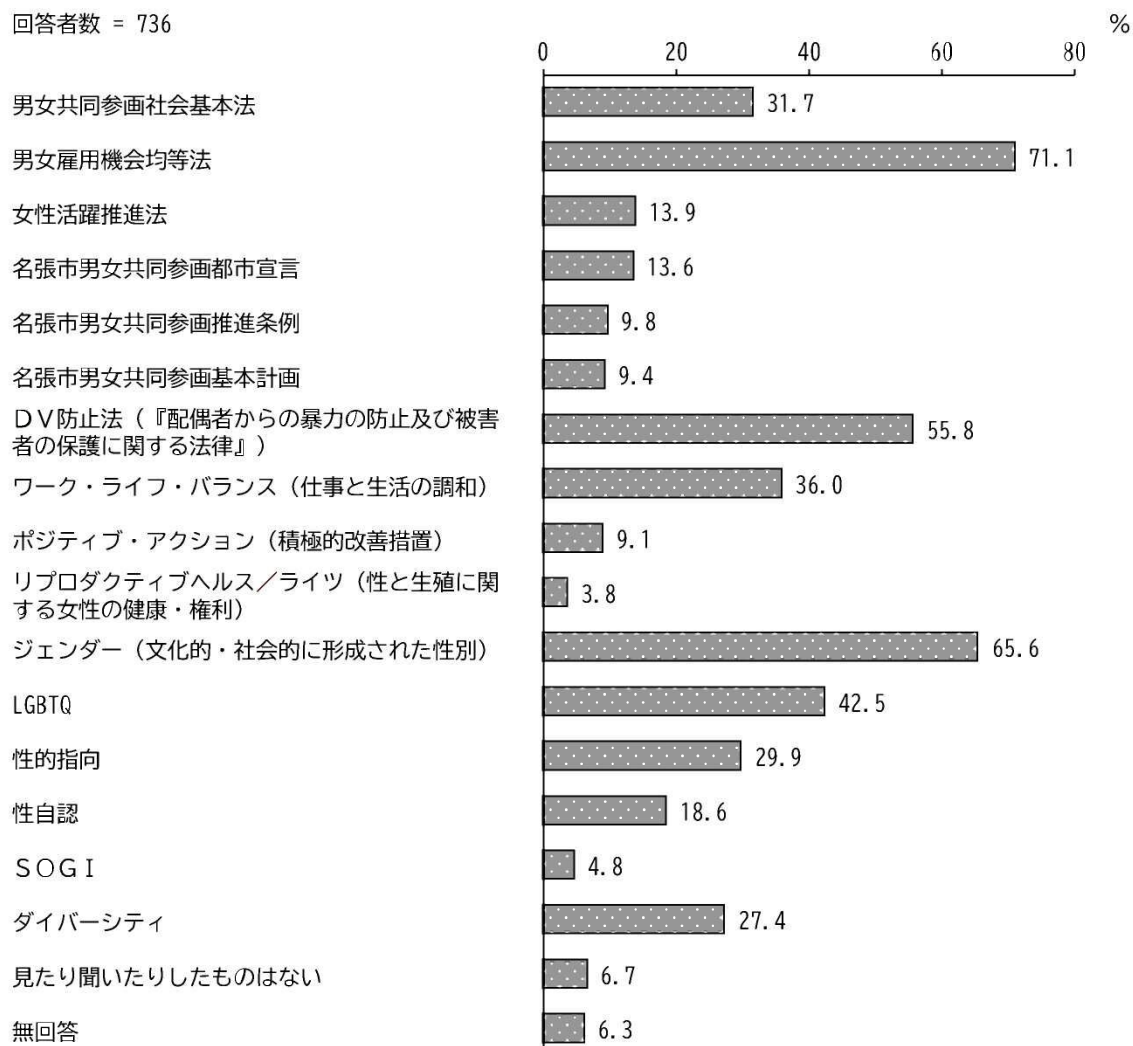


(6) 男女の人権について

問 43. 次の言葉のうち、見たり聞いたりしたことがあるものはありますか。
(○はいくつでも)

「男女雇用機会均等法」の割合が 71.1%と最も高く、次いで「ジェンダー（文化的・社会的に形成された性別）」の割合が 65.6%、「DV防止法（『配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律』）」の割合が 55.8%となっています。

回答者数 = 736



【性年齢別】

性年齢別にみると、男女とも「性自認」「LGBTQ」「ダイバーシティ」の割合が、女性では「男女共同参画社会基本法」「性的指向」の割合が、年齢が増すにつれ低くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	回答者数 (件)	男女共同参画社会基本法	男女雇用機会均等法	女性活躍推進法	名張市男女共同参画都市宣言	名張市男女共同参画推進条例	名張市男女共同参画基本計画	DV防止法(配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律)	ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)	ポジティブ・アクション(積極的改善措置)
全 体	736	31.7	71.1	13.9	13.6	9.8	9.4	55.8	36.0	9.1
男性 10歳代	6	100.0	100.0	50.0	—	—	—	66.7	66.7	33.3
20歳代	15	40.0	66.7	13.3	26.7	13.3	13.3	66.7	66.7	20.0
30歳代	19	47.4	68.4	21.1	5.3	5.3	5.3	42.1	47.4	15.8
40歳代	35	14.3	74.3	11.4	5.7	5.7	11.4	62.9	42.9	—
50歳代	42	33.3	90.5	19.0	21.4	14.3	14.3	61.9	50.0	9.5
60歳代	58	39.7	86.2	22.4	13.8	8.6	6.9	70.7	48.3	15.5
70歳代	102	32.4	80.4	11.8	14.7	11.8	16.7	59.8	23.5	7.8
80歳代以上	38	34.2	73.7	5.3	10.5	7.9	2.6	39.5	23.7	5.3
女性 10歳代	7	57.1	71.4	—	14.3	—	—	28.6	42.9	14.3
20歳代	17	52.9	76.5	11.8	17.6	5.9	11.8	70.6	76.5	11.8
30歳代	26	42.3	73.1	19.2	15.4	7.7	3.8	65.4	42.3	3.8
40歳代	51	35.3	84.3	29.4	21.6	9.8	11.8	62.7	52.9	11.8
50歳代	73	32.9	74.0	15.1	24.7	17.8	12.3	61.6	53.4	6.8
60歳代	83	24.1	72.3	10.8	7.2	7.2	7.2	61.4	33.7	7.2
70歳代	99	20.2	49.5	6.1	9.1	5.1	6.1	48.5	17.2	11.1
80歳代以上	55	27.3	36.4	3.6	3.6	12.7	3.6	23.6	10.9	5.5

区分	リップロダクティブヘルス／ライツ(性と生殖に関する女性の健康・権利)	ジェンダー(文化的・社会的に形成された性別)	LGBTQ	性的指向	性自認	SOGI	ダイバーシティ	見たたり聞いたりしたものはない	無回答
全 体	3.8	65.6	42.5	29.9	18.6	4.8	27.4	6.7	6.3
男性 10歳代	16.7	83.3	100.0	50.0	66.7	50.0	66.7	—	—
20歳代	6.7	86.7	73.3	46.7	53.3	—	46.7	—	—
30歳代	21.1	42.1	57.9	42.1	36.8	5.3	47.4	5.3	—
40歳代	2.9	71.4	62.9	34.3	28.6	—	40.0	8.6	—
50歳代	2.4	78.6	61.9	50.0	28.6	7.1	38.1	2.4	—
60歳代	5.2	70.7	43.1	32.8	24.1	10.3	36.2	5.2	1.7
70歳代	2.9	60.8	36.3	23.5	7.8	6.9	19.6	2.9	8.8
80歳代以上	—	47.4	18.4	7.9	2.6	2.6	7.9	5.3	13.2
女性 10歳代	—	42.9	42.9	42.9	42.9	28.6	28.6	28.6	—
20歳代	17.6	94.1	76.5	64.7	70.6	—	58.8	5.9	—
30歳代	3.8	80.8	61.5	42.3	30.8	3.8	30.8	3.8	—
40歳代	11.8	86.3	74.5	47.1	31.4	9.8	45.1	3.9	2.0
50歳代	2.7	74.0	53.4	37.0	21.9	2.7	37.0	6.8	2.7
60歳代	1.2	83.1	44.6	34.9	14.5	3.6	33.7	3.6	1.2
70歳代	—	50.5	16.2	12.1	4.0	—	6.1	10.1	14.1
80歳代以上	—	29.1	5.5	5.5	—	—	5.5	20.0	21.8

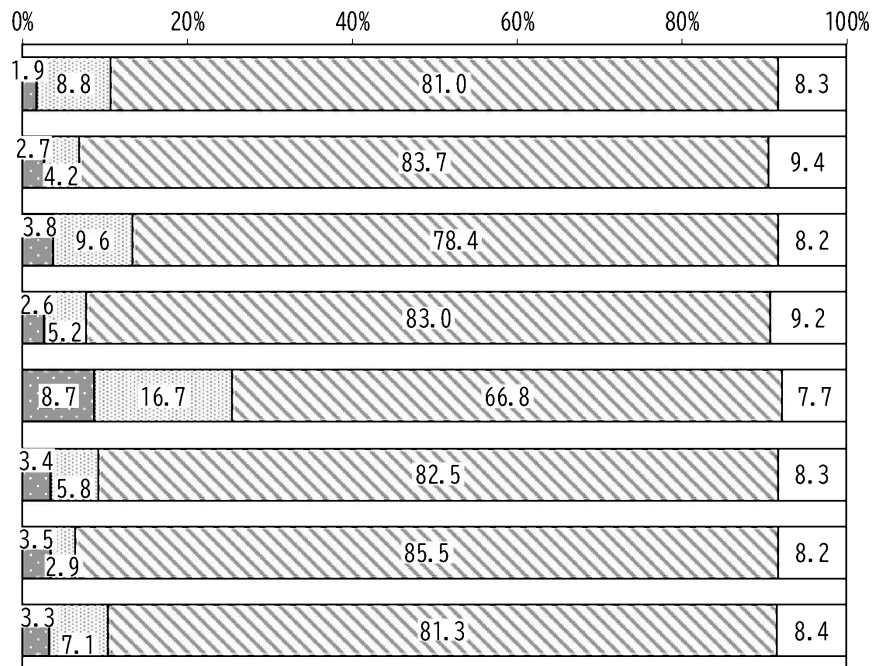
問 44. あなたはこれまでに、配偶者や恋人から、次のようなことをされた経験がありますか。(A～Hのそれぞれに○を1つずつ)

『E 大声で怒鳴られたり、暴言を吐かれるなど』で「何度もあった」「1～2度あった」の割合が高くなっています。

■ 何度もあった ▨ 1～2度あった ▩ まったくない □ 無回答

回答者数 = 736

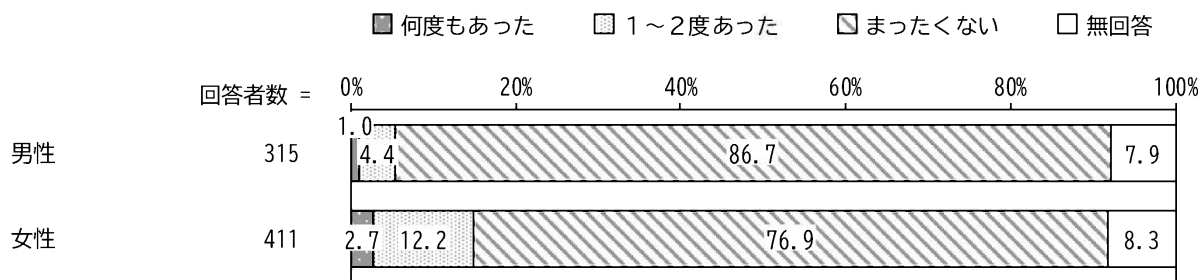
- A 殴る、蹴るなどの身体的暴力を受ける
- B 性的行為を強制される、避妊の非協力など
- C 無視され続ける
- D 交友関係や電話、電子メールを細かく監視されるなど
- E 大声で怒鳴られたり、暴言を吐かれるなど
- F 外出を制限、友人・実家との付き合いの禁止など
- G 生活費をわたさない、経済的におさえつけられるなど
- H 物の破壊（部屋の物を壊して脅かす）など



A. 殴る、蹴るなどの身体的暴力を受ける

【性別】

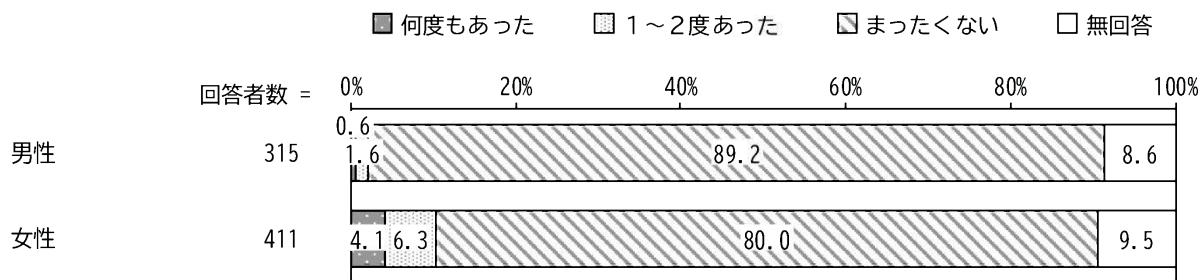
性別にみると、「まったくない」で男性の方が高く、「1～2度あった」で女性の方が高くなっています。



B. 性的行為を強制される、避妊の非協力など

【性別】

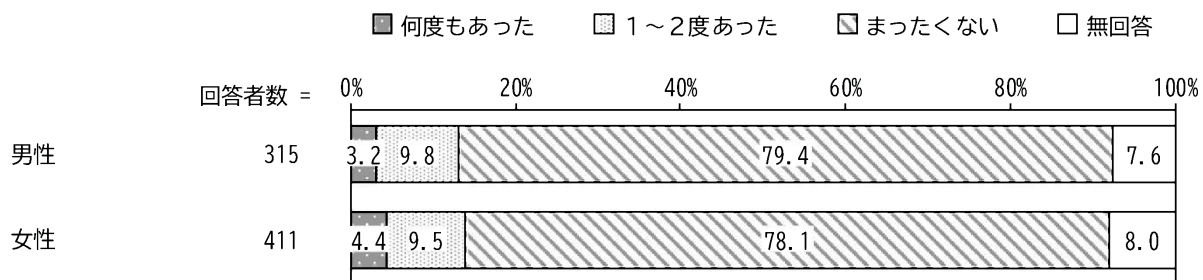
性別にみると、「まったくない」で男性の方が高くなっています。



C. 無視され続ける

【性別】

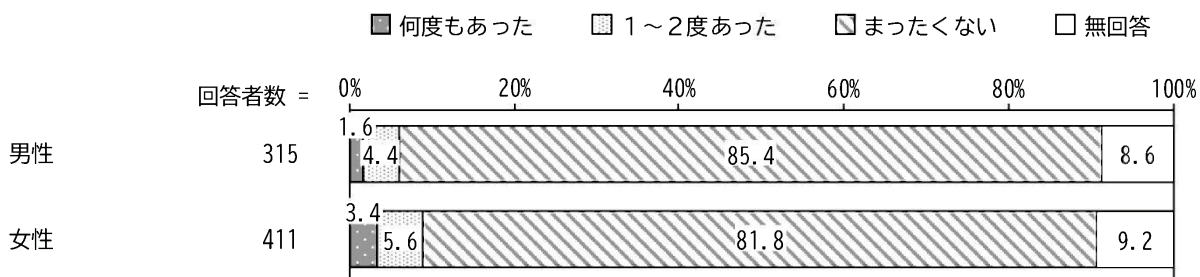
性別にみると、大きな差はみられません。



D. 交友関係や電話、電子メールを細かく監視されるなど

【性別】

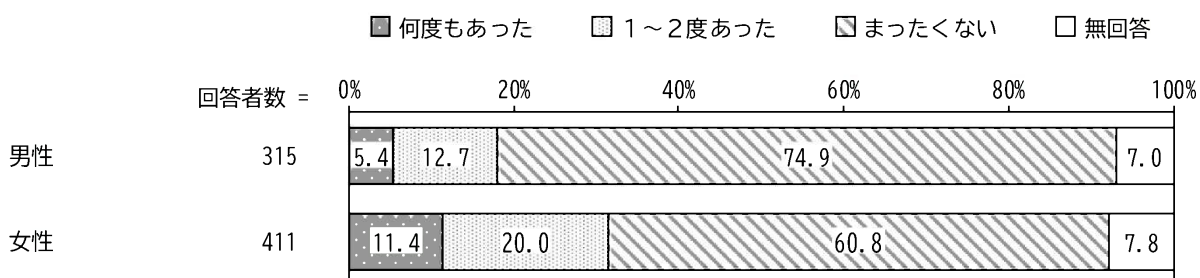
性別にみると、大きな差はみられません。



E. 大声で怒鳴られたり、暴言を吐かれるなど

【性別】

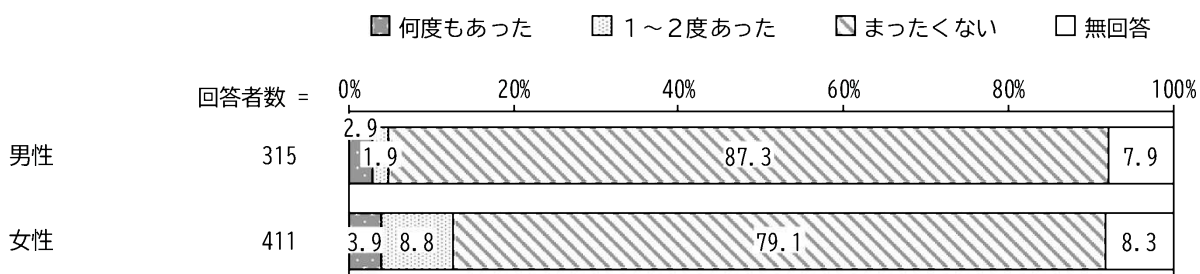
性別にみると、「まったくない」で男性の方が高く、「何度もあった」「1～2度あった」で女性の方が高くなっています。



F. 外出を制限、友人・実家との付き合いの禁止など

【性別】

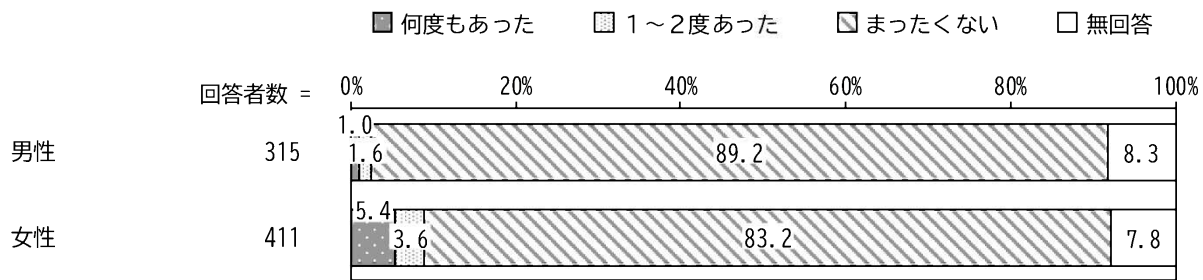
性別にみると、「まったくない」で男性の方が高く、「1～2度あった」で女性の方が高くなっています。



G. 生活費をわたさない、経済的におさえつけられるなど

【性別】

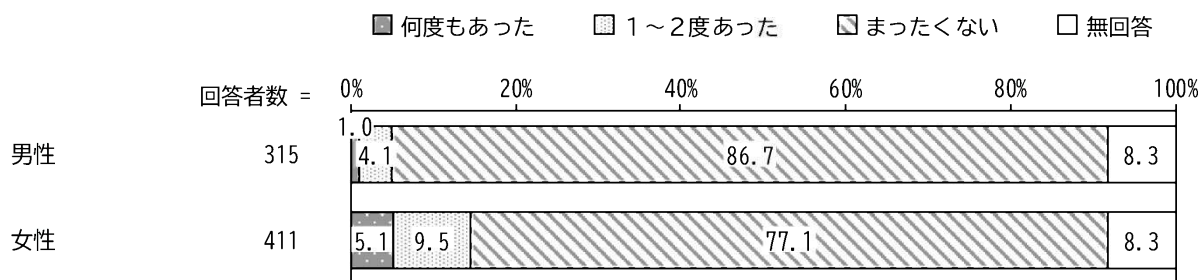
性別にみると、「まったくない」で男性の方が高くなっています。



H. 物の破壊（部屋の物を壊して脅かす）など

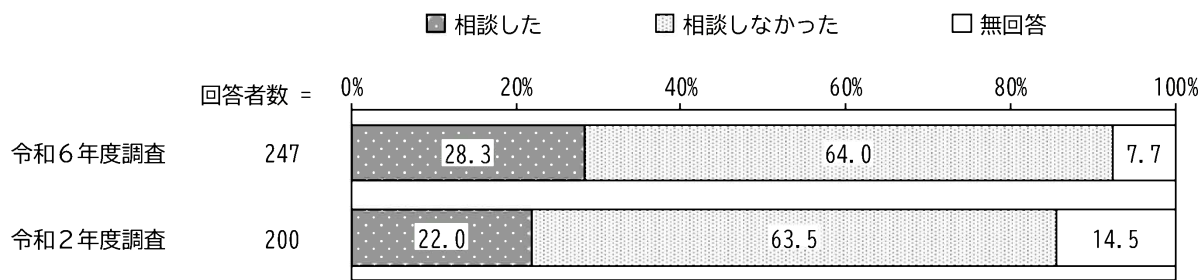
【性別】

性別にみると、「まったくない」で男性の方が高く、「1～2度あった」で女性の方が高くなっています。



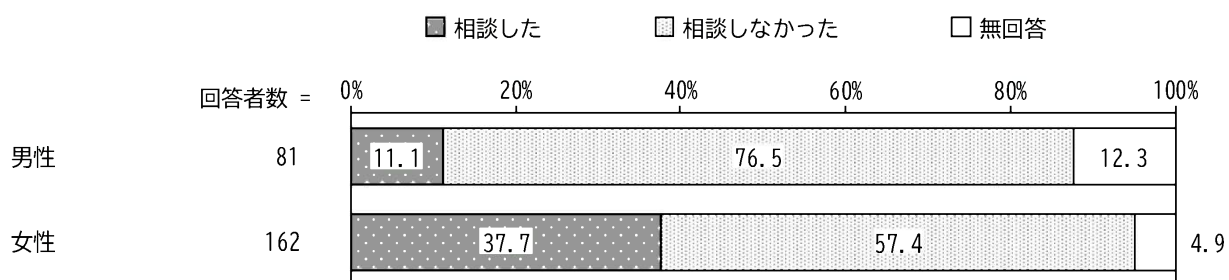
問 45. あなたは、そのことを誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。（○は1つ）

「相談した」の割合が28.3%、「相談しなかった」の割合が64.0%となっています。
令和2年度調査と比較すると、「相談した」の割合が増加しています。



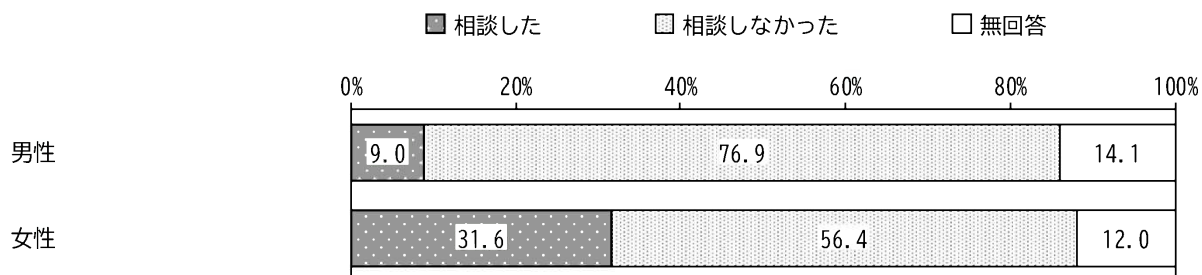
【性別】

性別にみると、「相談しなかった」で男性の方が高く、「相談した」で女性の方が高くなっています。



【性別 令和2年度調査】

性別について令和2年度調査と比較すると、女性で「相談した」の割合が増加しています。



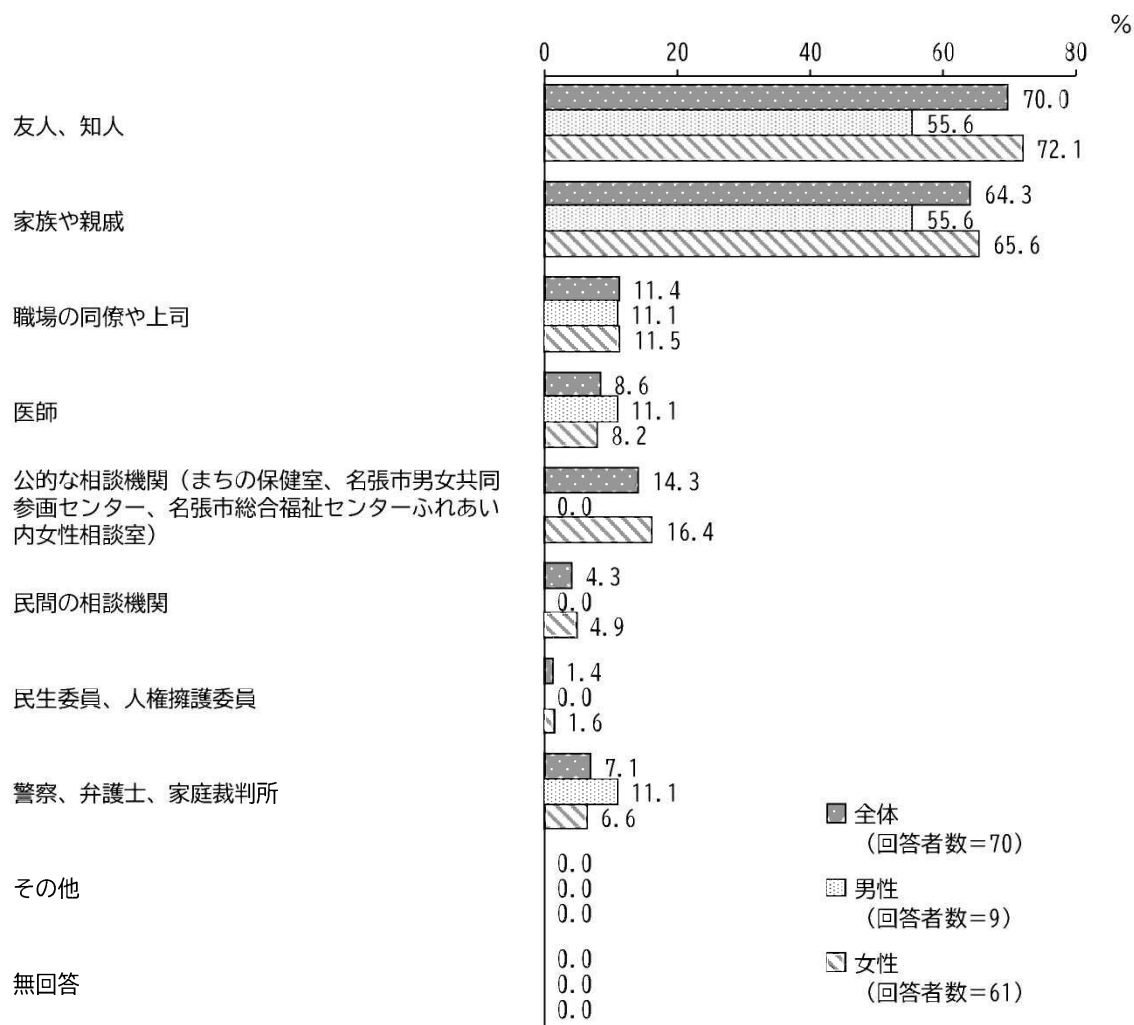
※令和2年度調査の報告書に回答者数の記載がありませんでした。

問 45 で「相談した」に○をつけた方にお聞きます。

問 46. 相談したのはどちらですか。(○はいくつでも)

「友人、知人」の割合が 70.0%と最も高く、次いで「家族や親戚」の割合が 64.3%、「公的な相談機関（まちの保健室、名張市男女共同参画センター、名張市総合福祉センターふれあい内女性相談室）」の割合が 14.3%となっています。

性別にみると、「友人、知人」「家族や親戚」「公的な相談機関（まちの保健室、名張市男女共同参画センター、名張市総合福祉センターふれあい内女性相談室）」で女性の方が高くなっています。

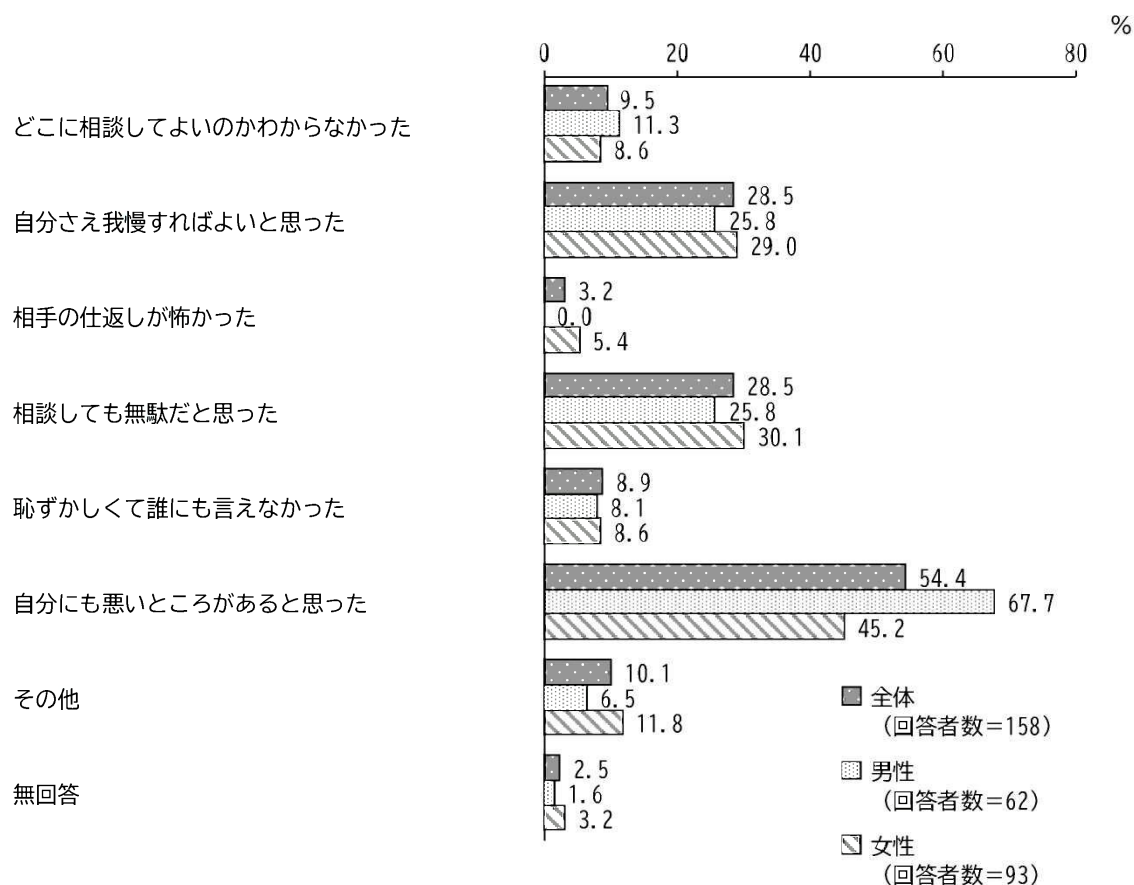


問 45 で「相談しなかった」に○をつけた方にお聞きします。

問 47. 相談しなかった理由は何ですか。(○はいくつでも)

「自分にも悪いところがあると思った」の割合が 54.4%と最も高く、次いで「自分さえ我慢すればよいと思った」、「相談しても無駄だと思った」の割合が 28.5%となっています。

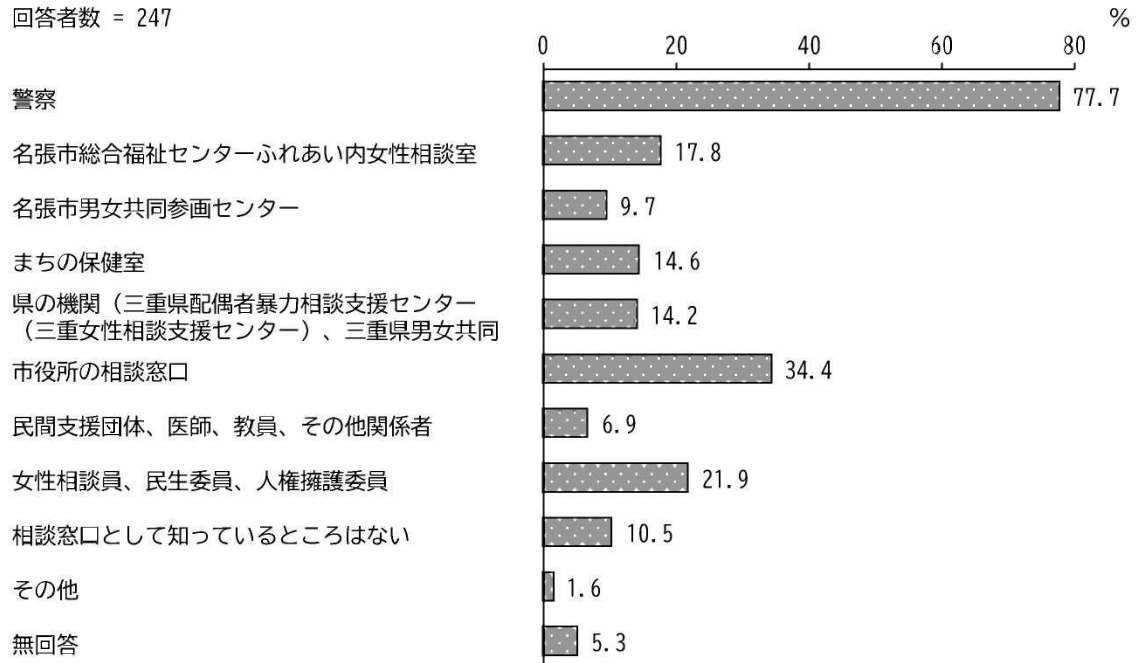
性別にみると、「自分にも悪いところがあると思った」で男性の方が高く、「相手の仕返しが怖かった」で女性の方が高くなっています。



問 48. 配偶者や恋人からの暴力を受けた時に相談できる機関や関係者のうち、知っているものはどれですか。(〇はいくつでも)

「警察」の割合が 77.7%と最も高く、次いで「市役所の相談窓口」の割合が 34.4%、「女性相談員、民生委員、人権擁護委員」の割合が 21.9%となっています。また、「相談窓口として知っているところはない」の割合が 10.5%となっています。

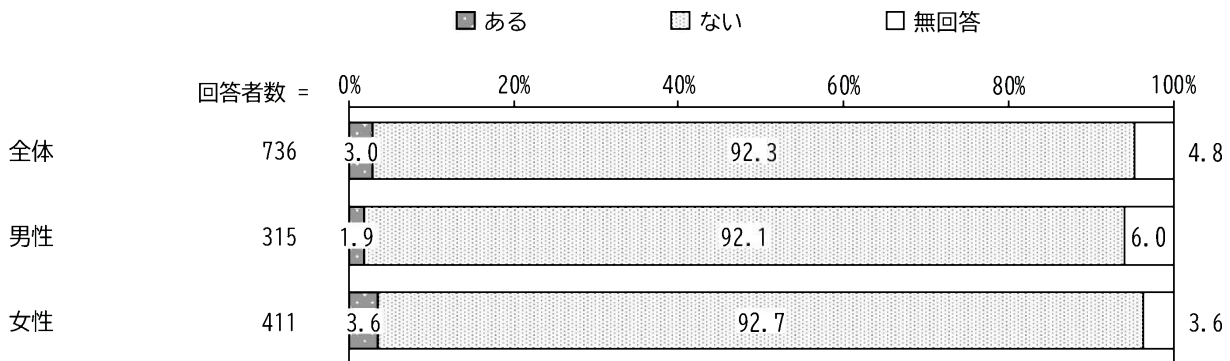
回答者数 = 247



(7) 性の多様性について

問 49. 「好きになる相手、性的対象が誰であるか」、「自分の性別をどう認識するか」など、性のあり方は多様であり、一人一人違います。あなたは、今まで自分の性別に悩んだことはありますか。(○は1つ)

「ある」の割合が 3.0%、「ない」の割合が 92.3%となっています。
性別にみると、大きな差はみられません。



問 50. 性の多様性に関する悩みについて相談できる機関や関係者のうち、知っているものはどれですか。(○はいくつでも)

「相談窓口として知っているところはない」の割合が 39.4%と最も高く、次いで「市役所の相談窓口」の割合が 21.9%、「三重県人権センター」の割合が 18.2%となっています。

